教材の利用について：このPDFは、利用者本人の個人学習目的で保存・印刷して利用できます。法令上認められる場合を除き、PDFまたは印刷物の第三者への配布・販売、問題・選択肢・解説の転載・流用、塾・講座・研修等での無断利用はできません。詳細は利用規約をご確認ください。https://shikaku-bootcamp.com/terms/

0001 施工経験記述 > 施工計画の記述 ｜ 難易度：基礎

既設庁舎を使用しながら分電盤を更新する。施工計画の記述として最も適切なものはどれか。

ア. 切替対象回路、停電範囲・時間、仮設電源、利用者への周知、復旧確認までを関連工事と調整して具体化する。

イ. 停電時間だけを記載し、仮設電源や復旧確認は現場判断とする。

ウ. 工事開始後に利用者から要望が出た時点で停電範囲を決める。

エ. 施工図があれば施工計画書には切替手順を記載しない。

答え・解説 **正答：ア**

ア：施工計画は施工前に関連工事等と調整し、具体的な施工方法・確認段階を示す必要がある。

イ：停電時間だけでは安全・機能維持・復旧確認の管理が不足する。

ウ：使用中施設では事前の影響把握と調整が必要で、着手後の場当たり対応は不適切である。

エ：施工図と施工計画書は役割が異なり、施工方法や確認段階を施工計画から省略できない。

総合解説：施工計画は施工前に関連工事等と調整し、具体的な施工方法・確認段階を示す必要がある。 この問題では、事実・原因・対策を混同せず、施工管理者として「何を確認し、何を止め、何を是正し、どう再確認するか」まで一連で判断することが重要である。

対象：2026年度 / 法令・制度基準日 2026-08-21

0002 施工経験記述 > 施工計画の記述 ｜ 難易度：標準

大型変圧器を地下電気室へ搬入する計画を記述する場合、施工管理上の要点として最も適切なものはどれか。

ア. 機器重量だけ確認し、搬入経路の床荷重は建築工事側に一任する。

イ. 搬入経路の寸法・床荷重・揚重位置・養生・誘導員配置を事前確認し、他工種の作業時間と調整する。

ウ. 搬入当日に最短経路を選び、支障物はその場で移設する。

エ. 機器が梱包されていれば、搬入時の養生は不要とする。

答え・解説 **正答：イ**

ア：床荷重は重大な施工条件であり、他工種任せでは施工計画として不十分である。

イ：搬入計画では機器寸法・重量だけでなく経路、構造、安全、他工種との干渉を一体で検討する。

ウ：当日判断では工程・安全・品質上のリスクが高く、事前調査が必要である。

エ：梱包の有無にかかわらず、建物・機器双方の損傷防止のため必要な養生を行う。

総合解説：搬入計画では機器寸法・重量だけでなく経路、構造、安全、他工種との干渉を一体で検討する。 この問題では、事実・原因・対策を混同せず、施工管理者として「何を確認し、何を止め、何を是正し、どう再確認するか」まで一連で判断することが重要である。

対象：2026年度 / 法令・制度基準日 2026-08-21

© 2026 資格ブートキャンプ｜個人学習用。法令上認められる場合を除き、無断転載・再配布・販売・第三者への配布・教材等への無断利用を禁止します。利用規約：https://shikaku-bootcamp.com/terms/

0003 施工経験記述 > 施工計画の記述 ｜ 難易度：基礎

狭いEPS内で既設幹線に近接して新設幹線を敷設する計画の記述として適切なものはどれか。

ア. ケーブルラックの長さだけを測り、既設回路の運用状態は確認しない。

イ. 新設幹線は既設幹線の上に仮置きし、後で支持金物を設ける。

ウ. 既設回路の運用状態、作業空間、支持方法、火気・感電リスクを調査し、施工順序と隔離措置を定める。

エ. 作業空間が狭ければ、施工順序は各作業員の判断に任せる。

答え・解説 **正答：ウ**

ア：既設回路の活線・停電状態を把握せず作業計画を立てるのは危険である。

イ：仮置きによる過大荷重・損傷・通路障害が生じるおそれがある。

ウ：既設設備に近接する施工では、既設の状態と危険源を把握し、順序と隔離を計画することが重要である。

エ：狭所ほど作業干渉が起こりやすく、施工順序を事前に定める必要がある。

総合解説：既設設備に近接する施工では、既設の状態と危険源を把握し、順序と隔離を計画することが重要である。 この問題では、事実・原因・対策を混同せず、施工管理者として「何を確認し、何を止め、何を是正し、どう再確認するか」まで一連で判断することが重要である。

対象：2026年度 / 法令・制度基準日 2026-08-21

0004 施工経験記述 > 施工計画の記述 ｜ 難易度：標準

屋上の高圧機器更新で、施工計画に気象条件を盛り込む記述として最も適切なものはどれか。

ア. 天候は当日にならないと分からないため施工計画には記載しない。

イ. 降雨時も工程優先で機器開放を継続し、後で乾燥させる。

ウ. 強風時は作業員の人数を増やせば揚重を継続できる。

エ. 風雨の影響を受ける揚重・開放作業について中止基準と養生方法を定め、予報を踏まえ工程を調整する。

答え・解説 **正答：エ**

ア：気象予報等に注意し災害予防に努めることが求められ、計画から除外できない。

イ：水分侵入は絶縁性能等の品質不良につながるため、工程優先の継続は不適切である。

ウ：人数増加は強風による荷振れ等の根本対策にならない。

エ：気象は安全・品質の双方に影響するため、施工計画でリスクと対応条件を明確にする。

総合解説：気象は安全・品質の双方に影響するため、施工計画でリスクと対応条件を明確にする。 この問題では、事実・原因・対策を混同せず、施工管理者として「何を確認し、何を止め、何を是正し、どう再確認するか」まで一連で判断することが重要である。

対象：2026年度 / 法令・制度基準日 2026-08-21

© 2026 資格ブートキャンプ｜個人学習用。法令上認められる場合を除き、無断転載・再配布・販売・第三者への配布・教材等への無断利用を禁止します。利用規約：https://shikaku-bootcamp.com/terms/

0005 施工経験記述 > 施工計画の記述 ｜ 難易度：応用

防火区画を貫通する電線管・ケーブル工事の施工計画で最も適切な記述はどれか。

ア. 貫通位置、使用する防火措置、施工時期、隠ぺい前の確認方法を施工前に明確にする。

イ. 貫通孔の位置だけ記載し、防火措置は完成検査時に決める。

ウ. 防火措置は仕上げ工事なので電気工事の施工計画から除外する。

エ. 隠ぺい後に図面上で確認できれば施工記録は不要とする。

答え・解説 **正答：ア**

ア：防火区画貫通部は後で確認しにくくなるため、施工方法と確認段階を事前に定める必要がある。

イ：完成時では遅く、隠ぺい前に適切な施工を確認できる計画が必要である。

ウ：電気設備工事で生じる貫通部の処理は当該施工と一体で管理すべき事項である。

エ：隠ぺい後に目視できない部分は施工記録や写真を整備することが重要である。

総合解説：防火区画貫通部は後で確認しにくくなるため、施工方法と確認段階を事前に定める必要がある。 この問題では、事実・原因・対策を混同せず、施工管理者として「何を確認し、何を止め、何を是正し、どう再確認するか」まで一連で判断することが重要である。

対象：2026年度 / 法令・制度基準日 2026-08-21

0006 施工経験記述 > 施工計画の記述 ｜ 難易度：標準

受電日が固定された新築工事で施工計画をまとめる場合、最も適切なものはどれか。

ア. 受電日は電力会社の予定なので、自社施工の工程とは切り離して扱う。

イ. 受電に必要な盤据付、幹線接続、接地、試験、関係機関手続を逆算し、建築・機械工事との前提条件を工程化する。

ウ. 盤据付が終われば受電可能とみなし、試験工程は受電後にまとめて行う。

エ. 建築側の電気室仕上げ状況は受電工程に影響しない。

答え・解説 **正答：イ**

ア：受電は電気工事全体の重要な節点であり、自社工程と切り離せない。

イ：固定されたマイルストーンから必要作業と前提条件を逆算して計画することが工程確保に有効である。

ウ：受電前に必要な検査・試験を完了させる計画が必要である。

エ：電気室の搬入・据付・環境条件は受変電設備工事に直接影響する。

総合解説：固定されたマイルストーンから必要作業と前提条件を逆算して計画することが工程確保に有効である。 この問題では、事実・原因・対策を混同せず、施工管理者として「何を確認し、何を止め、何を是正し、どう再確認するか」まで一連で判断することが重要である。

対象：2026年度 / 法令・制度基準日 2026-08-21

© 2026 資格ブートキャンプ｜個人学習用。法令上認められる場合を除き、無断転載・再配布・販売・第三者への配布・教材等への無断利用を禁止します。利用規約：https://shikaku-bootcamp.com/terms/

0007 施工経験記述 > 施工計画の記述 ｜ 難易度：基礎

天井内で空調ダクトとケーブルラックの干渉が判明した。施工計画上の対応として最も適切なものはどれか。

ア. 電気工事の方が先に施工できるため、そのまま進めて後で空調側に変更させる。

イ. 施工図だけ修正し、施工計画への影響は確認しない。

ウ. 関連工事と納まりを調整し、施工図と必要な施工計画を修正して承諾・報告手続きを行ってから施工する。

エ. 現場で収まればよいので記録を残さず配管経路を変更する。

答え・解説 **正答：ウ**

ア：一方的な先行施工は関連工事の手戻りと品質低下を招く。

イ：経路変更は工程・安全・品質・材料数量へ影響し得るため施工計画への影響確認が必要である。

ウ：施工図等は関連工事と調整して作成し、変更時も必要な手続きを経て施工へ反映する。

エ：無記録の変更は設計図書との整合や完成図の信頼性を損なう。

総合解説：施工図等は関連工事と調整して作成し、変更時も必要な手続きを経て施工へ反映する。 この問題では、事実・原因・対策を混同せず、施工管理者として「何を確認し、何を止め、何を是正し、どう再確認するか」まで一連で判断することが重要である。

対象：2026年度 / 法令・制度基準日 2026-08-21

0008 施工経験記述 > 施工計画の記述 ｜ 難易度：標準

活線設備が残る電気室内で更新工事を行う計画の要点として最も適切なものはどれか。

ア. 「注意して作業する」とだけ記載し、充電部の位置は現場説明に任せる。

イ. 作業区域を広く取れない場合は、表示を省略して経験者だけで施工する。

ウ. 復電手順は完成後の作業なので施工計画には含めない。

エ. 停電範囲と充電部を明確に区分し、隔離・表示・作業区域・復電手順を計画に明示する。

答え・解説 **正答：エ**

ア：抽象的な注意喚起だけでは具体的なリスク低減措置にならない。

イ：経験者であっても区画・表示等の管理措置を省略する理由にはならない。

ウ：復電時の誤操作や残工事の有無は重大リスクであり、計画段階から明確にする。

エ：活線近接作業では危険源を明確化し、隔離から復電まで一連の手順として管理する必要がある。

総合解説：活線近接作業では危険源を明確化し、隔離から復電まで一連の手順として管理する必要がある。 この問題では、事実・原因・対策を混同せず、施工管理者として「何を確認し、何を止め、何を是正し、どう再確認するか」まで一連で判断することが重要である。

対象：2026年度 / 法令・制度基準日 2026-08-21

© 2026 資格ブートキャンプ｜個人学習用。法令上認められる場合を除き、無断転載・再配布・販売・第三者への配布・教材等への無断利用を禁止します。利用規約：https://shikaku-bootcamp.com/terms/

0009 施工経験記述 > 施工計画の記述 ｜ 難易度：応用

受配電盤が長納期品である工事の施工計画で、工程確保の観点から最も適切な記述はどれか。

ア. 承認図、製作、工場試験、搬入、据付の節点を設定し、建築側の搬入口閉鎖時期などと整合させる。

イ. 納期はメーカー責任なので施工計画では据付日だけ記載する。

ウ. 搬入口が閉鎖された場合は完成後に壁を解体して搬入する前提とする。

エ. 盤の製作工程は現場作業ではないため工程管理の対象外とする。

答え・解説 **正答：ア**

ア：長納期機器は製作前承認から搬入条件まで含めて工程上の制約を管理する必要がある。

イ：メーカー責任であっても受注者の工程管理から外れるわけではない。

ウ：建築側工程と事前調整せず後施工で解体する計画は手戻り・費用増につながる。

エ：工場製作も現場施工の開始条件となるため全体工程で管理すべきである。

総合解説：長納期機器は製作前承認から搬入条件まで含めて工程上の制約を管理する必要がある。 この問題では、事実・原因・対策を混同せず、施工管理者として「何を確認し、何を止め、何を是正し、どう再確認するか」まで一連で判断することが重要である。

対象：2026年度 / 法令・制度基準日 2026-08-21

0010 施工経験記述 > 施工計画の記述 ｜ 難易度：標準

複数設備と連動する非常電源設備の施工計画について最も適切なものはどれか。

ア. 発電機単体が始動すれば品質は確認できるため、連動試験は不要とする。

イ. 単体試験だけでなく、関連設備との連動確認に必要な前提条件、試験順序、関係者立会いを計画する。

ウ. 連動確認は他工種の責任なので、電気工事側は試験条件を整理しない。

エ. 試験順序は当日に決めた方が柔軟なので事前計画しない。

答え・解説 **正答：イ**

ア：単体動作だけでは非常時のシステム機能を確認できない。

イ：総合機能の確認には関係設備との調整が必要で、試験条件と順序を施工計画に組み込むことが重要である。

ウ：他工種との境界条件を整理すること自体が施工管理上重要である。

エ：当日判断では試験抜けや設備損傷のリスクが高まる。

総合解説：総合機能の確認には関係設備との調整が必要で、試験条件と順序を施工計画に組み込むことが重要である。 この問題では、事実・原因・対策を混同せず、施工管理者として「何を確認し、何を止め、何を是正し、どう再確認するか」まで一連で判断することが重要である。

対象：2026年度 / 法令・制度基準日 2026-08-21

© 2026 資格ブートキャンプ｜個人学習用。法令上認められる場合を除き、無断転載・再配布・販売・第三者への配布・教材等への無断利用を禁止します。利用規約：https://shikaku-bootcamp.com/terms/

0011 施工経験記述 > 施工計画の記述 ｜ 難易度：基礎

設計時に想定されていなかった既設配管が発見され、ケーブルラック経路の変更が必要となった。適切な記述はどれか。

ア. 現場で迂回可能なら報告せず施工し、完成図だけ直す。

イ. 工程遅延を避けるため既設配管を切断してから協議する。

ウ. 既設物を確認・記録し、監督職員へ報告・協議した上で施工図、工程、安全・品質計画への影響を反映する。

エ. 既設物の詳細が不明でも、計画変更は不要として作業を継続する。

答え・解説 **正答：ウ**

ア：無断変更は設計・他設備との整合を失わせる。

イ：既設物を勝手に切断することは安全・機能・契約面で不適切である。

ウ：施工条件が変わった場合は、事実を記録し、関係者と協議して計画へ反映することが基本である。

エ：不明条件を残したまま作業を進めると事故や手戻りのリスクが高い。

総合解説：施工条件が変わった場合は、事実を記録し、関係者と協議して計画へ反映することが基本である。 この問題では、事実・原因・対策を混同せず、施工管理者として「何を確認し、何を止め、何を是正し、どう再確認するか」まで一連で判断することが重要である。

対象：2026年度 / 法令・制度基準日 2026-08-21

0012 施工経験記述 > 施工計画の記述 ｜ 難易度：標準

天井閉鎖前の配線・支持・防火処理を確実に確認する施工計画の記述として最も適切なものはどれか。

ア. 天井閉鎖後でも完成写真があれば確認できるため、確認段階は設定しない。

イ. 確認項目は作業員が熟知しているので文書化しない。

ウ. 監督職員の検査がある場合、自主確認は不要とする。

エ. 天井閉鎖前を確認段階として設定し、確認項目・責任者・記録方法を工種別施工計画に明示する。

答え・解説 **正答：エ**

ア：閉鎖後の写真だけでは現場の全状態を検証できず、施工中の確認が必要である。

イ：責任分担と確認漏れ防止のため、確認項目は計画に明示する。

ウ：監督職員の検査は受注者の品質管理・自主確認を代替するものではない。

エ：後日確認が困難になる部分は、施工計画で確認時期と内容を明確にし記録することが重要である。

総合解説：後日確認が困難になる部分は、施工計画で確認時期と内容を明確にし記録することが重要である。 この問題では、事実・原因・対策を混同せず、施工管理者として「何を確認し、何を止め、何を是正し、どう再確認するか」まで一連で判断することが重要である。

対象：2026年度 / 法令・制度基準日 2026-08-21

© 2026 資格ブートキャンプ｜個人学習用。法令上認められる場合を除き、無断転載・再配布・販売・第三者への配布・教材等への無断利用を禁止します。利用規約：https://shikaku-bootcamp.com/terms/

0013 施工経験記述 > 品質管理の記述 ｜ 難易度：基礎

天井内配線が閉鎖後に目視できなくなる。品質管理の記述として最も適切なものはどれか。

ア. 支持間隔、曲げ、接続、防火処理など所定項目を閉鎖前に確認し、写真・記録を残す。

イ. 完成後に絶縁抵抗が良好なら、施工途中の記録は不要とする。

ウ. 作業員の自己申告だけで合格とし、確認者を設けない。

エ. 写真は完成状態だけ撮影し、隠ぺい前は撮影しない。

答え・解説 **正答：ア**

ア：隠ぺい後に検査しにくい部分は施工段階で確認し、品質を証明できる記録を残すことが重要である。

イ：電気的試験だけでは支持や防火処理等の施工状態を確認できない。

ウ：自己申告だけでは客観的な品質確認にならない。

エ：隠ぺい部こそ閉鎖前の記録が必要である。

総合解説：隠ぺい後に検査しにくい部分は施工段階で確認し、品質を証明できる記録を残すことが重要である。 この問題では、事実・原因・対策を混同せず、施工管理者として「何を確認し、何を止め、何を是正し、どう再確認するか」まで一連で判断することが重要である。

対象：2026年度 / 法令・制度基準日 2026-08-21

0014 施工経験記述 > 品質管理の記述 ｜ 難易度：標準

受配電盤を現場へ搬入した際の品質管理として最も適切なものはどれか。

ア. メーカー品であれば現場受入検査は一切不要とする。

イ. 仕様・外観・銘板・試験成績等を照合し、必要な検査に合格したものを適切に保管する。

ウ. 傷があっても機能に影響しないと施工者が判断すれば記録せず使用する。

エ. 搬入後は梱包を外したまま屋外で保管する。

答え・解説 **正答：イ**

ア：メーカー品であることだけでは現場搬入時の仕様・損傷確認を代替できない。

イ：機材は搬入時に設計図書等との適合を確認し、使用まで破損・変質を防いで保管する。

ウ：損傷は品質への影響を評価し、必要な処置・記録を行うべきである。

エ：屋外放置は水分・汚損等による品質低下を招く。

総合解説：機材は搬入時に設計図書等との適合を確認し、使用まで破損・変質を防いで保管する。 この問題では、事実・原因・対策を混同せず、施工管理者として「何を確認し、何を止め、何を是正し、どう再確認するか」まで一連で判断することが重要である。

対象：2026年度 / 法令・制度基準日 2026-08-21

© 2026 資格ブートキャンプ｜個人学習用。法令上認められる場合を除き、無断転載・再配布・販売・第三者への配布・教材等への無断利用を禁止します。利用規約：https://shikaku-bootcamp.com/terms/

0015 施工経験記述 > 品質管理の記述 ｜ 難易度：基礎

高圧ケーブル端末処理の品質管理で重要な記述はどれか。

ア. 端末材料が新品なら施工者の技能差は品質に影響しない。

イ. 仕上がり外観だけ良ければ処理寸法の確認は不要である。

ウ. 施工者の資格・技能、施工環境、寸法・清掃状態、メーカー手順への適合を確認し記録する。

エ. 施工環境の湿気や汚れは完成後に除去できるため管理しない。

答え・解説 **正答：ウ**

ア：材料品質だけで施工品質を保証できない。

イ：外観だけでは内部の処理寸法や界面状態を確認できない。

ウ：高圧端末は施工品質が絶縁性能に直結するため、手順・環境・技能・寸法の管理が必要である。

エ：湿気・汚染は絶縁性能低下につながるため施工時管理が必要である。

総合解説：高圧端末は施工品質が絶縁性能に直結するため、手順・環境・技能・寸法の管理が必要である。 この問題では、事実・原因・対策を混同せず、施工管理者として「何を確認し、何を止め、何を是正し、どう再確認するか」まで一連で判断することが重要である。

対象：2026年度 / 法令・制度基準日 2026-08-21

0016 施工経験記述 > 品質管理の記述 ｜ 難易度：標準

接地抵抗測定で計画値を満足しなかった。品質管理上の記述として適切なものはどれか。

ア. 測定値を設計値に近い整数へ丸めて合格扱いとする。

イ. 一度不合格でも後日自然に低下する可能性があるため、そのまま完成とする。

ウ. 測定器の表示が安定しない場合は最小値だけを記録する。

エ. 測定条件と接続を確認し、原因を特定して接地極追加等の是正後に再測定し、結果を記録する。

答え・解説 **正答：エ**

ア：測定値の恣意的変更は品質記録の信頼性を失わせる。

イ：自然変化を期待して不適合を放置することはできない。

ウ：不安定な測定では条件を見直し、代表性のある正しい測定を行う必要がある。

エ：不適合値は測定の妥当性確認、原因分析、是正、再確認の順で処理する。

総合解説：不適合値は測定の妥当性確認、原因分析、是正、再確認の順で処理する。 この問題では、事実・原因・対策を混同せず、施工管理者として「何を確認し、何を止め、何を是正し、どう再確認するか」まで一連で判断することが重要である。

対象：2026年度 / 法令・制度基準日 2026-08-21

© 2026 資格ブートキャンプ｜個人学習用。法令上認められる場合を除き、無断転載・再配布・販売・第三者への配布・教材等への無断利用を禁止します。利用規約：https://shikaku-bootcamp.com/terms/

0017 施工経験記述 > 品質管理の記述 ｜ 難易度：応用

施工方法を変更した結果、品質確認方法も変更する必要が生じた。適切な記述はどれか。

ア. 変更後の品質目標・確認項目・判定方法を見直し、必要な承諾を受けてから適用する。

イ. 施工方法を変えても品質計画は最初のまま変更しない。

ウ. 品質確認方法は現場担当者の裁量で変更し、記録しない。

エ. 変更後の最初の施工は確認せず、量産後に代表箇所だけ確認する。

答え・解説 **正答：ア**

ア：品質計画に係る変更は施工へ反映する前に整理し、承諾・記録を伴って管理する。

イ：施工方法が変われば品質リスクや確認方法も変わる可能性がある。

ウ：無記録の変更は品質保証の追跡性を失わせる。

エ：変更直後こそ初品確認等で妥当性を確認する必要がある。

総合解説：品質計画に係る変更は施工へ反映する前に整理し、承諾・記録を伴って管理する。 この問題では、事実・原因・対策を混同せず、施工管理者として「何を確認し、何を止め、何を是正し、どう再確認するか」まで一連で判断することが重要である。

対象：2026年度 / 法令・制度基準日 2026-08-21

0018 施工経験記述 > 品質管理の記述 ｜ 難易度：標準

盤内端子の締付け管理を施工品質として記述する場合に最も適切なものはどれか。

ア. 強く締めるほど確実なので、作業者の最大力で締める。

イ. 指定トルクや施工要領に従って締付け、確認方法と記録を定め、増締めの要否もメーカー指示に従う。

ウ. トルク管理は機械設備のみに必要で、電気端子では不要である。

エ. すべての端子を完成後に無条件で増締めし、初期締付け記録は残さない。

答え・解説 **正答：イ**

ア：過大締付けは端子やボルトの損傷を招く。

イ：端子接続は過小・過大締付けの双方が不具合要因となるため、指定方法で管理する。

ウ：電気接続部でも適正な締付けは接触信頼性に重要である。

エ：メーカーが増締めを禁止・不要としている場合もあり、指示に従う必要がある。

総合解説：端子接続は過小・過大締付けの双方が不具合要因となるため、指定方法で管理する。 この問題では、事実・原因・対策を混同せず、施工管理者として「何を確認し、何を止め、何を是正し、どう再確認するか」まで一連で判断することが重要である。

対象：2026年度 / 法令・制度基準日 2026-08-21

© 2026 資格ブートキャンプ｜個人学習用。法令上認められる場合を除き、無断転載・再配布・販売・第三者への配布・教材等への無断利用を禁止します。利用規約：https://shikaku-bootcamp.com/terms/

0019 施工経験記述 > 品質管理の記述 ｜ 難易度：基礎

絶縁抵抗試験の品質記録として最も適切なものはどれか。

ア. 合格した回路は「良」とだけ記録し、測定値を残さない。

イ. 代表回路だけ測定し、同じ工法の他回路は無条件に同値とみなす。

ウ. 回路名、測定対象、測定条件、使用計器、測定値、判定結果を追跡できるよう記録する。

エ. 測定器の管理状態は品質記録と関係ないため確認しない。

答え・解説 **正答：ウ**

ア：「良」だけでは基準との余裕や測定の再現性を確認できない。

イ：対象回路ごとに必要な試験を実施し、無根拠な横展開をしない。

ウ：試験記録は対象と結果を後から検証できる追跡性を持たせることが重要である。

エ：計測器の状態は測定値の信頼性に直結する。

総合解説：試験記録は対象と結果を後から検証できる追跡性を持たせることが重要である。この問題では、事実・原因・対策を混同せず、施工管理者として「何を確認し、何を止め、何を是正し、どう再確認するか」まで一連で判断することが重要である。

対象：2026年度 / 法令・制度基準日 2026-08-21

0020 施工経験記述 > 品質管理の記述 ｜ 難易度：標準

同じ器具取付けを多数施工する前に見本施工を行う目的として最も適切な記述はどれか。

ア. 最初の1台を速く施工して作業時間の最短値を決めるためだけに行う。

イ. 見本が合格すれば以後の自主検査を省略するために行う。

ウ. 見本施工は完成後の手直し方法を決めるために行う。

エ. 仕上がり、位置、施工方法の基準を関係者で確認し、その後の施工品質をそろえる。

答え・解説 **正答：エ**

ア：時間短縮だけを目的とするものではない。

イ：見本合格後も品質管理・確認は継続する必要がある。

ウ：手直し前提ではなく、初めから適合する施工基準を共有するために行う。

エ：見本施工は要求される仕上がり水準を事前に共有し、量産施工のばらつきを抑えるのに有効である。

総合解説：見本施工は要求される仕上がり水準を事前に共有し、量産施工のばらつきを抑えるのに有効である。 この問題では、事実・原因・対策を混同せず、施工管理者として「何を確認し、何を止め、何を是正し、どう再確認するか」まで一連で判断することが重要である。

対象：2026年度 / 法令・制度基準日 2026-08-21

© 2026 資格ブートキャンプ｜個人学習用。法令上認められる場合を除き、無断転載・再配布・販売・第三者への配布・教材等への無断利用を禁止します。利用規約：https://shikaku-bootcamp.com/terms/

0021 施工経験記述 > 品質管理の記述 ｜ 難易度：応用

同一型式の照明器具で点灯不良が複数発生した。品質管理の記述として最も適切なものはどれか。

ア. 個別交換だけで終えず、ロット・施工班・回路・接続方法等で発生傾向を整理して共通原因を調べる。

イ. 故障した器具だけ交換し、他の同型器具は調べない。

ウ. 発生率が低ければ原因を記録せず完成扱いにする。

エ. 作業員の注意不足と推定し、証拠がなくても原因を確定する。

答え・解説 **正答：ア**

ア：複数発生時は層別や共通要因の確認により再発・潜在不良を把握することが重要である。

イ：単品交換だけでは同一原因による潜在不良を見逃す。

ウ：低頻度でも共通不具合なら品質上の重要情報となる。

エ：原因は事実とデータに基づいて特定する必要がある。

総合解説：複数発生時は層別や共通要因の確認により再発・潜在不良を把握することが重要である。 この問題では、事実・原因・対策を混同せず、施工管理者として「何を確認し、何を止め、何を是正し、どう再確認するか」まで一連で判断することが重要である。

対象：2026年度 / 法令・制度基準日 2026-08-21

0022 施工経験記述 > 品質管理の記述 ｜ 難易度：標準

試運転中に保護継電器が想定と異なる動作をした。品質管理上の記述として最も適切なものはどれか。

ア. 一度動作したので機器自体は正常と判断し、試験を終了する。

イ. 試験を中断し、設定値・配線・試験条件・設計条件を照合して原因を特定し、是正後に再試験する。

ウ. 想定と違う動作でも、実負荷では問題ないと推定して設定を変えない。

エ. 原因調査前に別の継電器へ交換し、記録は残さない。

答え・解説 **正答：イ**

ア：動作した事実だけでは設定・選択協調等の適否を確認できない。

イ：異常動作はシステム品質に影響するため、条件を固定して原因を切り分け、是正後の確認まで行う。

ウ：推定で合格とするのは不適切である。

エ：無記録の交換では原因・是正内容の追跡性を失う。

総合解説：異常動作はシステム品質に影響するため、条件を固定して原因を切り分け、是正後の確認まで行う。 この問題では、事実・原因・対策を混同せず、施工管理者として「何を確認し、何を止め、何を是正し、どう再確認するか」まで一連で判断することが重要である。

対象：2026年度 / 法令・制度基準日 2026-08-21

© 2026 資格ブートキャンプ｜個人学習用。法令上認められる場合を除き、無断転載・再配布・販売・第三者への配布・教材等への無断利用を禁止します。利用規約：https://shikaku-bootcamp.com/terms/

0023 施工経験記述 > 安全管理の記述 ｜ 難易度：基礎

高圧設備の停電作業を安全管理として記述する場合に最も適切なものはどれか。

ア. 停電指示を受けたら検電を省略して作業を開始する。

イ. 遮断器を開放すれば誤送電の可能性はないので表示や施錠は不要とする。

ウ. 停電範囲を確認し、開路・施錠等の誤送電防止、検電、必要な接地、作業区域管理を手順化する。

エ. 作業後の復電は別作業なので、安全計画から除外する。

答え・解説 **正答：ウ**

ア：指示だけでは実際の無電圧状態を保証できない。

イ：誤操作・遠方操作等を防ぐ措置が必要である。

ウ：電気作業では停電状態の確認と誤送電防止、作業中・復電時の管理を一連で計画することが重要である。

エ：復電前の人員・工具・接地の確認も重大な安全工程である。

総合解説：電気作業では停電状態の確認と誤送電防止、作業中・復電時の管理を一連で計画することが重要である。 この問題では、事実・原因・対策を混同せず、施工管理者として「何を確認し、何を止め、何を是正し、どう再確認するか」まで一連で判断することが重要である。

対象：2026年度 / 法令・制度基準日 2026-08-21

0024 施工経験記述 > 安全管理の記述 ｜ 難易度：標準

脚立では届かない高所の照明器具交換を安全管理として記述する場合に適切なものはどれか。

ア. 短時間なら脚立の最上段に立って作業してよい。

イ. 熟練者であれば墜落防止設備を省略できる。

ウ. 器具が軽量なら足場の安定性は確認しなくてよい。

エ. 作業高さ・時間・足場条件を評価し、適切な作業床や高所作業車等を選定して墜落防止措置を行う。

答え・解説 **正答：エ**

ア：短時間でも不安定姿勢による墜落リスクは変わらない。

イ：技能は物理的な墜落防止措置を代替しない。

ウ：器具重量と作業床の安定性は別の安全要素である。

エ：作業方法は作業高さ・姿勢・継続時間等の危険性を踏まえて選定し、墜落リスクを低減する。

総合解説：作業方法は作業高さ・姿勢・継続時間等の危険性を踏まえて選定し、墜落リスクを低減する。 この問題では、事実・原因・対策を混同せず、施工管理者として「何を確認し、何を止め、何を是正し、どう再確認するか」まで一連で判断することが重要である。

対象：2026年度 / 法令・制度基準日 2026-08-21

© 2026 資格ブートキャンプ｜個人学習用。法令上認められる場合を除き、無断転載・再配布・販売・第三者への配布・教材等への無断利用を禁止します。利用規約：https://shikaku-bootcamp.com/terms/

0025 施工経験記述 > 安全管理の記述 ｜ 難易度：標準

商業施設の営業中に天井内配線工事を行う安全計画で最も適切なものはどれか。

ア. 作業区域を明確に区画し、第三者の動線と分離し、落下物・工具落下を防止して必要な監視を行う。

イ. 利用者が少ない時間帯なら区画せずに作業してよい。

ウ. 天井内作業なので床面の第三者対策は不要である。

エ. 注意看板だけ設置すれば資材落下防止措置は不要である。

答え・解説 **正答：ア**

ア：営業中施設では作業区域と第三者動線を分離し、落下物等の公衆災害を防止する必要がある。

イ：人が少なくても第三者侵入の可能性がある。

ウ：天井内から床面へ物が落下する可能性がある。

エ：表示は物理的な落下防止・立入管理を代替しない。

総合解説：営業中施設では作業区域と第三者動線を分離し、落下物等の公衆災害を防止する必要がある。 この問題では、事実・原因・対策を混同せず、施工管理者として「何を確認し、何を止め、何を是正し、どう再確認するか」まで一連で判断することが重要である。

対象：2026年度 / 法令・制度基準日 2026-08-21

0026 施工経験記述 > 安全管理の記述 ｜ 難易度：基礎

盤をクレーンで揚重する作業の安全管理記述として最も適切なものはどれか。

ア. 吊荷が軽ければ重心位置の確認を省略する。

イ. 機器重量・重心、吊具能力、玉掛方法、合図、旋回範囲の立入禁止を事前に確認する。

ウ. 合図者を定めず、運転者と近い作業員がその都度合図する。

エ. 吊荷の下を短時間通過することは認める。

答え・解説 **正答：イ**

ア：軽量でも偏心や荷崩れは起こり得る。

イ：揚重は荷の条件、設備能力、役割分担、立入禁止を事前計画する必要がある。

ウ：合図系統が不明確だと誤操作につながる。

エ：吊荷の下への立入は重大災害につながるため避ける。

総合解説：揚重は荷の条件、設備能力、役割分担、立入禁止を事前計画する必要がある。 この問題では、事実・原因・対策を混同せず、施工管理者として「何を確認し、何を止め、何を是正し、どう再確認するか」まで一連で判断することが重要である。

対象：2026年度 / 法令・制度基準日 2026-08-21

© 2026 資格ブートキャンプ｜個人学習用。法令上認められる場合を除き、無断転載・再配布・販売・第三者への配布・教材等への無断利用を禁止します。利用規約：https://shikaku-bootcamp.com/terms/

0027 施工経験記述 > 安全管理の記述 ｜ 難易度：応用

感電リスクの高い作業について対策を記述する場合、最も適切なものはどれか。

ア. 保護具を着用すれば停電可能な作業でも活線のまま行う。

イ. 作業時間を短くすれば危険源の除去は不要とする。

ウ. 可能なら停電・隔離など危険源を除去・低減し、それが困難な場合に設備的対策、管理的対策、保護具を組み合わせる。

エ. 熟練者を配置することを最優先のリスク低減策とする。

答え・解説 **正答：ウ**

ア：保護具は最後の防護層であり、停電可能なら危険源除去を優先する。

イ：短時間化だけでは感電の重大性を十分下げられない。

ウ：リスク低減は危険源そのものの除去・低減を優先し、保護具だけに依存しない。

エ：人の技能に依存する前に工学的・設備的対策を検討する。

総合解説：リスク低減は危険源そのものの除去・低減を優先し、保護具だけに依存しない。この問題では、事実・原因・対策を混同せず、施工管理者として「何を確認し、何を止め、何を是正し、どう再確認するか」まで一連で判断することが重要である。

対象：2026年度 / 法令・制度基準日 2026-08-21

0028 施工経験記述 > 安全管理の記述 ｜ 難易度：標準

吹抜け上部で電気工事を行う場合の安全管理として適切な記述はどれか。

ア. 下部作業員がヘルメットを着用すれば上下同時作業を行ってよい。

イ. 工具が小型なら落下防止措置を省略する。

ウ. 上部作業者が声掛けすれば下部の立入禁止は不要とする。

エ. 下部を立入禁止とし、工具・材料の落下防止措置を講じ、上下同時作業を避ける。

答え・解説 **正答：エ**

ア：保護帽だけでは落下物のエネルギーを十分防げない場合がある。

イ：小型工具でも高さがあれば重大な危険となる。

ウ：声掛けは恒常的な立入管理を代替しない。

エ：落下物災害は発生源側の落下防止と下部の立入管理を組み合わせることが基本である。

総合解説：落下物災害は発生源側の落下防止と下部の立入管理を組み合わせることが基本である。 この問題では、事実・原因・対策を混同せず、施工管理者として「何を確認し、何を止め、何を是正し、どう再確認するか」まで一連で判断することが重要である。

対象：2026年度 / 法令・制度基準日 2026-08-21

© 2026 資格ブートキャンプ｜個人学習用。法令上認められる場合を除き、無断転載・再配布・販売・第三者への配布・教材等への無断利用を禁止します。利用規約：https://shikaku-bootcamp.com/terms/

0029 施工経験記述 > 安全管理の記述 ｜ 難易度：応用

複数班が同一電気室で作業する日の安全管理記述として最も適切なものはどれか。

ア. 作業前に各班の作業範囲、停電状態、搬入・揚重、立入区域、責任者を共有し、干渉リスクを調整する。

イ. 各班が自分の作業だけ把握していれば全体調整は不要である。

ウ. 予定変更は班長だけが知っていればよく、他班へ伝えない。

エ. 同一会社の作業員なら作業区域の区分は不要である。

答え・解説 **正答：ア**

ア：複数班の同時作業では相互干渉が事故要因となるため、全体の作業条件を共有する必要がある。

イ：自班だけの把握では他班から受けるリスクを管理できない。

ウ：変更情報を共有しないと前提条件が崩れる。

エ：同一会社でも作業内容が異なれば区画・責任分担が必要である。

総合解説：複数班の同時作業では相互干渉が事故要因となるため、全体の作業条件を共有する必要がある。 この問題では、事実・原因・対策を混同せず、施工管理者として「何を確認し、何を止め、何を是正し、どう再確認するか」まで一連で判断することが重要である。

対象：2026年度 / 法令・制度基準日 2026-08-21

0030 施工経験記述 > 安全管理の記述 ｜ 難易度：標準

屋外の高所作業で風が強まり始めた。安全管理の記述として適切なものはどれか。

ア. 工程が遅れている場合は中止基準を適用しない。

イ. 事前に定めた中止基準と現場状況に基づき作業を中断し、資材・機器を安定させて再開条件を確認する。

ウ. 風がさらに強くなるまで作業を継続し、危険を感じた作業員だけ退避する。

エ. 作業を止める場合でも吊り下げた資材はそのまま残す。

答え・解説 **正答：イ**

ア：工程都合で安全基準を変更してはならない。

イ：気象条件の悪化は安全余裕を急激に低下させるため、計画した中止・退避・再開基準を適用する。

ウ：個人判断に任せると退避が遅れるおそれがある。

エ：中断時は資材・機器を安全な状態にする必要がある。

総合解説：気象条件の悪化は安全余裕を急激に低下させるため、計画した中止・退避・再開基準を適用する。 この問題では、事実・原因・対策を混同せず、施工管理者として「何を確認し、何を止め、何を是正し、どう再確認するか」まで一連で判断することが重要である。

対象：2026年度 / 法令・制度基準日 2026-08-21

© 2026 資格ブートキャンプ｜個人学習用。法令上認められる場合を除き、無断転載・再配布・販売・第三者への配布・教材等への無断利用を禁止します。利用規約：https://shikaku-bootcamp.com/terms/

0031 工程・品質事例 > 工程遅延への対応 ｜ 難易度：基礎

受配電盤の製作が2週間遅れる見込みとなった。最初に行う対応として最も適切なものはどれか。

ア. 遅延が確定するまで何もせず、納入日に合わせて全工程を後ろ倒しする。

イ. メーカーへ人数増員だけ要求し、現場側の工程影響は分析しない。

ウ. 受電日や後続工程への影響を工程ネットワークで確認し、代替可能な先行作業とメーカー回復策を整理する。

エ. 盤がない間は現場作業をすべて停止する。

答え・解説 **正答：ウ**

ア：待つだけでは回復余地を失う。

イ：メーカー対策だけでなく現場側の先行・並行作業も評価する必要がある。

ウ：遅延対応では影響範囲の把握と回復可能性の検討を先に行う。

エ：盤据付以外の作業を進められる可能性を検討すべきである。

総合解説：遅延対応では影響範囲の把握と回復可能性の検討を先に行う。 この問題では、事実・原因・対策を混同せず、施工管理者として「何を確認し、何を止め、何を是正し、どう再確認するか」まで一連で判断することが重要である。

対象：2026年度 / 法令・制度基準日 2026-08-21

0032 工程・品質事例 > 工程遅延への対応 ｜ 難易度：標準

電気室の仕上げが遅れ、受変電設備の搬入が予定日にできない。適切な対応はどれか。

ア. 搬入経路が未完成でも予定どおり搬入し、現場で養生して待機する。

イ. 建築工事の遅れなので電気工事の工程表は変更しない。

ウ. 搬入日だけ変更し、試験・受電日への影響は確認しない。

エ. 搬入可能条件と新しい最早日を建築側と確認し、工場保管、他作業前倒し、受電工程への影響を調整する。

答え・解説 **正答：エ**

ア：無理な搬入は機器損傷や安全リスクを高める。

イ：工程の前提条件が変わった以上、電気側工程も見直す必要がある。

ウ：受電までの連鎖工程を確認しなければ全体遅延を見逃す。

エ：他工種遅延でも自工事の工程条件が変わるため、前提条件と後続工程を再計画する。

総合解説：他工種遅延でも自工事の工程条件が変わるため、前提条件と後続工程を再計画する。 この問題では、事実・原因・対策を混同せず、施工管理者として「何を確認し、何を止め、何を是正し、どう再確認するか」まで一連で判断することが重要である。

対象：2026年度 / 法令・制度基準日 2026-08-21

© 2026 資格ブートキャンプ｜個人学習用。法令上認められる場合を除き、無断転載・再配布・販売・第三者への配布・教材等への無断利用を禁止します。利用規約：https://shikaku-bootcamp.com/terms/

0033 工程・品質事例 > 工程遅延への対応 ｜ 難易度：基礎

幹線ケーブルの一部が納期遅延となった。工程遅延を抑える対応として適切なものはどれか。

ア. 未入荷区間と影響する試験・接続を特定し、入荷済区間の支持・配管・端末準備など手戻りのない作業を先行する。

イ. 別仕様のケーブルを無承認で使用して工程を守る。

ウ. 全区間の作業を停止し、入荷まで待つ。

エ. 入荷したら夜間作業で必ず取り戻せると仮定して工程変更しない。

答え・解説 **正答：ア**

ア：品質を損なわず、入荷待ちと独立して進められる作業を抽出することが合理的である。

イ：無承認の材料変更は品質・設計適合性を損なう。

ウ：全停止は不要な待ち時間を増やす。

エ：将来の残業に依存した楽観的計画は確実性が低い。

総合解説：品質を損なわず、入荷待ちと独立して進められる作業を抽出することが合理的である。 この問題では、事実・原因・対策を混同せず、施工管理者として「何を確認し、何を止め、何を是正し、どう再確認するか」まで一連で判断することが重要である。

対象：2026年度 / 法令・制度基準日 2026-08-21

0034 工程・品質事例 > 工程遅延への対応 ｜ 難易度：標準

クリティカルパス上の盤据付が3日遅れた。最も適切な工程対応はどれか。

ア. クリティカルパス上でも3日程度なら全体工期には影響しないとみなす。

イ. 後続の接続・試験を含めた全体工期への3日の影響を確認し、施工班増強や作業分割など実行可能な短縮策を比較する。

ウ. 非クリティカル作業を短縮すれば必ず工期を回復できる。

エ. 遅延を隠すため工程表上の予定日だけ変更する。

答え・解説 **正答：イ**

ア：余裕時間がないため、遅延を無視できない。

イ：クリティカル作業の遅延は原則として全体工期へ直接影響するため、当該経路の短縮策を検討する。

ウ：非クリティカル作業の短縮が全体工期短縮につながらない場合がある。

エ：実態と異なる工程表は管理機能を失う。

総合解説：クリティカル作業の遅延は原則として全体工期へ直接影響するため、当該経路の短縮策を検討する。 この問題では、事実・原因・対策を混同せず、施工管理者として「何を確認し、何を止め、何を是正し、どう再確認するか」まで一連で判断することが重要である。

対象：2026年度 / 法令・制度基準日 2026-08-21

© 2026 資格ブートキャンプ｜個人学習用。法令上認められる場合を除き、無断転載・再配布・販売・第三者への配布・教材等への無断利用を禁止します。利用規約：https://shikaku-bootcamp.com/terms/

0035 工程・品質事例 > 工程遅延への対応 ｜ 難易度：応用

絶縁試験不合格により手直しと再試験が必要になった。工程上の適切な対応はどれか。

ア. 品質不良は品質担当の問題なので工程表には反映しない。

イ. 再試験は短時間とみなし、所要時間を見積もらない。

ウ. 原因調査・是正・再試験に必要な時間を見積もり、天井閉鎖や受電など後続工程との関係を再調整する。

エ. 後続工程を予定どおり進め、試験は完成後にまとめて行う。

答え・解説 **正答：ウ**

ア：工程管理と品質管理は相互に影響する。

イ：所要時間を見積もらないと回復計画を立てられない。

ウ：品質是正は工程へ影響するため、必要時間と後続工程への制約を明確にする。

エ：不合格状態のまま隠ぺい・後続施工を進めるのは不適切である。

総合解説：品質是正は工程へ影響するため、必要時間と後続工程への制約を明確にする。 この問題では、事実・原因・対策を混同せず、施工管理者として「何を確認し、何を止め、何を是正し、どう再確認するか」まで一連で判断することが重要である。

対象：2026年度 / 法令・制度基準日 2026-08-21

0036 工程・品質事例 > 工程遅延への対応 ｜ 難易度：標準

施設側の都合で予定していた停電可能日が1週間後ろへ変更された。適切な対応はどれか。

ア. 停電日まで全作業を停止する。

イ. 停電作業を活線作業へ変更して予定日を維持する。

ウ. 施設側変更なので工程影響を記録しない。

エ. 停電が必要な作業と不要な作業を分離し、停電不要作業を前倒ししつつ新停電日に必要人員・資材を集中させる。

答え・解説 **正答：エ**

ア：停止範囲を広げると不要な遅延が増える。

イ：安全性を低下させる安易な活線化は工程対策として不適切である。

ウ：工期変更協議等の根拠となるため変更事実と影響を記録する。

エ：制約条件変更時は作業を再分類し、独立して進められる作業を先行する。

総合解説：制約条件変更時は作業を再分類し、独立して進められる作業を先行する。 この問題では、事実・原因・対策を混同せず、施工管理者として「何を確認し、何を止め、何を是正し、どう再確認するか」まで一連で判断することが重要である。

対象：2026年度 / 法令・制度基準日 2026-08-21

© 2026 資格ブートキャンプ｜個人学習用。法令上認められる場合を除き、無断転載・再配布・販売・第三者への配布・教材等への無断利用を禁止します。利用規約：https://shikaku-bootcamp.com/terms/

0037 工程・品質事例 > 工程遅延への対応 ｜ 難易度：基礎

感染症等で施工班の人員が急減した。適切な工程対策はどれか。

ア. 必要資格・技能を維持できる範囲で重要作業へ人員を再配置し、優先順位と作業量を見直す。

イ. 資格要件に関係なく他班から人員を集めればよい。

ウ. 全員の残業時間を増やして同じ作業量を維持する。

エ. 人員が戻るまで工程情報を更新しない。

答え・解説 **正答：ア**

ア：人員不足時は安全・品質・資格要件を守った上で優先順位を再設定する必要がある。

イ：必要技能・資格を無視した配置は品質・安全リスクになる。

ウ：長時間労働への単純依存は健康・安全・生産性を悪化させる。

エ：現実の能力に合わせて工程を更新する必要がある。

総合解説：人員不足時は安全・品質・資格要件を守った上で優先順位を再設定する必要がある。 この問題では、事実・原因・対策を混同せず、施工管理者として「何を確認し、何を止め、何を是正し、どう再確認するか」まで一連で判断することが重要である。

対象：2026年度 / 法令・制度基準日 2026-08-21

0038 工程・品質事例 > 工程遅延への対応 ｜ 難易度：標準

連日の雨で屋外配管工事が遅れている。適切な対応はどれか。

ア. 防水性の低い材料でも工程優先で雨中施工する。

イ. 屋内で可能な加工・支持金物製作・機器結線を前倒しし、屋外工事は安全・品質条件を満たす日に集中する。

ウ. 雨天分はすべて残業で回復するとして計画変更しない。

エ. 屋外工事が止まっている間は他の作業も止める。

答え・解説 **正答：イ**

ア：雨中施工は接続部等の品質や安全へ悪影響を及ぼす場合がある。

イ：天候依存作業と非依存作業を分け、品質・安全を維持しながら工程を組み替えるのが合理的である。

ウ：残業前提だけでは確実な回復策にならない。

エ：独立作業を止める必要はない。

総合解説：天候依存作業と非依存作業を分け、品質・安全を維持しながら工程を組み替えるのが合理的である。 この問題では、事実・原因・対策を混同せず、施工管理者として「何を確認し、何を止め、何を是正し、どう再確認するか」まで一連で判断することが重要である。

対象：2026年度 / 法令・制度基準日 2026-08-21

© 2026 資格ブートキャンプ｜個人学習用。法令上認められる場合を除き、無断転載・再配布・販売・第三者への配布・教材等への無断利用を禁止します。利用規約：https://shikaku-bootcamp.com/terms/

0039 工程・品質事例 > 工程遅延への対応 ｜ 難易度：応用

照明制御方式の設計変更が未確定で配線施工が止まりそうである。適切な対応はどれか。

ア. 想定で配線を完了し、変更が出たら全てやり直す。

イ. 設計変更が決まるまで関連する全フロアの電気工事を停止する。

ウ. 未確定範囲を明確にし、共通して施工可能な配管・支持等を選別するとともに、決定期限を関係者と共有する。

エ. 未確定事項の決定期限を設定せず待つ。

答え・解説 **正答：ウ**

ア：推測施工は大きな手戻りを生む。

イ：停止範囲を必要以上に広げるべきではない。

ウ：不確定範囲と確定範囲を分け、決定期限を管理することで手戻りと待ち時間を抑える。

エ：期限管理がないと工程回復の判断ができない。

総合解説：不確定範囲と確定範囲を分け、決定期限を管理することで手戻りと待ち時間を抑える。 この問題では、事実・原因・対策を混同せず、施工管理者として「何を確認し、何を止め、何を是正し、どう再確認するか」まで一連で判断することが重要である。

対象：2026年度 / 法令・制度基準日 2026-08-21

0040 工程・品質事例 > 工程遅延への対応 ｜ 難易度：標準

総合試運転予定日になっても機械設備側が未完成である。適切な対応はどれか。

ア. 電気設備だけで総合試運転を実施したことにする。

イ. 他工種の遅れなので自工事の試験記録には何も残さない。

ウ. 総合試運転を省略して完成とする。

エ. 単体試験で先行確認できる項目を完了し、総合試運転の前提条件と再実施日を関係者で調整する。

答え・解説 **正答：エ**

ア：総合機能を確認していないのに実施扱いにはできない。

イ：前提条件未達は工程・品質記録として残す必要がある。

ウ：要求された機能確認を省略できない。

エ：総合試運転には関連設備の前提条件が必要であり、先行可能な試験と再調整を分けて管理する。

総合解説：総合試運転には関連設備の前提条件が必要であり、先行可能な試験と再調整を分けて管理する。 この問題では、事実・原因・対策を混同せず、施工管理者として「何を確認し、何を止め、何を是正し、どう再確認するか」まで一連で判断することが重要である。

対象：2026年度 / 法令・制度基準日 2026-08-21

© 2026 資格ブートキャンプ｜個人学習用。法令上認められる場合を除き、無断転載・再配布・販売・第三者への配布・教材等への無断利用を禁止します。利用規約：https://shikaku-bootcamp.com/terms/

0041 工程・品質事例 > 工程遅延への対応 ｜ 難易度：基礎

工事後半に搬入用エレベータの使用時間が制限された。適切な対応はどれか。

ア. 残資材の寸法・数量・搬入頻度を整理し、先行搬入と保管場所、時間帯別搬入計画を再設定する。

イ. 必要資材を通路へ一括仮置きして搬入回数を減らす。

ウ. 制限時間外でも短時間なら無断で搬入する。

エ. 搬入制約は作業時間とは無関係なので工程影響を評価しない。

答え・解説 **正答：ア**

ア：物流制約も工程条件であり、保管安全性を含めて搬入計画を再構成する必要がある。

イ：通路占有は避難・作業安全を損なう。

ウ：施設ルールを無断で破ることはできない。

エ：搬入可能時間は作業開始時刻や資材供給へ直接影響する。

総合解説：物流制約も工程条件であり、保管安全性を含めて搬入計画を再構成する必要がある。 この問題では、事実・原因・対策を混同せず、施工管理者として「何を確認し、何を止め、何を是正し、どう再確認するか」まで一連で判断することが重要である。

対象：2026年度 / 法令・制度基準日 2026-08-21

0042 工程・品質事例 > 工程遅延への対応 ｜ 難易度：標準

工期短縮のため「人員増」「作業分割」「施工順序変更」の候補がある。選定方法として最も適切なものはどれか。

ア. 短縮日数が最大の案を無条件で採用する。

イ. 短縮可能日数だけでなく、安全、品質、作業干渉、追加費用、必要技能を比較して実行可能性を判断する。

ウ. 費用が最小の案だけを採用し、品質影響は完成後に確認する。

エ. すべての案を同時に実施すれば必ず最短になる。

答え・解説 **正答：イ**

ア：安全・品質を損なう短縮は採用できない。

イ：工程回復策は工期だけでなく安全・品質・資源制約を含めて評価する必要がある。

ウ：品質影響を後回しにすると手戻りで更に遅れる可能性がある。

エ：対策同士が干渉し、生産性が低下する場合もある。

総合解説：工程回復策は工期だけでなく安全・品質・資源制約を含めて評価する必要がある。 この問題では、事実・原因・対策を混同せず、施工管理者として「何を確認し、何を止め、何を是正し、どう再確認するか」まで一連で判断することが重要である。

対象：2026年度 / 法令・制度基準日 2026-08-21

© 2026 資格ブートキャンプ｜個人学習用。法令上認められる場合を除き、無断転載・再配布・販売・第三者への配布・教材等への無断利用を禁止します。利用規約：https://shikaku-bootcamp.com/terms/

0043 工程・品質事例 > 工程遅延への対応 ｜ 難易度：応用

受注者の責によらない施工条件変更で全体工期への影響が見込まれる。適切な対応はどれか。

ア. 完成間際まで様子を見てから一括して工期延長を申し出る。

イ. 工期影響の根拠を示さず日数だけ要求する。

ウ. 影響事実を速やかに報告し、必要変更日数の算出根拠や変更工程表などを整理して協議する。

エ. 責任がない事由なので工程表を更新せず施工する。

答え・解説 **正答：ウ**

ア：早期共有しなければ調整余地を失う。

イ：合理的な変更日数の根拠が必要である。

ウ：令和7年版標準仕様では受注者責によらない事由が全体工期に影響する場合の報告・協議資料整備が明確化されている。

エ：現状を反映した工程管理が必要である。

総合解説：令和7年版標準仕様では受注者責によらない事由が全体工期に影響する場合の報告・協議資料整備が明確化されている。 この問題では、事実・原因・対策を混同せず、施工管理者として「何を確認し、何を止め、何を是正し、どう再確認するか」まで一連で判断することが重要である。

対象：2026年度 / 法令・制度基準日 2026-08-21

0044 工程・品質事例 > 工程遅延への対応 ｜ 難易度：標準

複数フロアで同種工事を繰り返す現場で遅れを早期発見する方法として適切なものはどれか。

ア. 全体完成率だけを月末に確認する。

イ. 予定数量は管理せず、作業員の感覚で進捗を判断する。

ウ. 完成したフロアだけを集計し、未着手部分は管理対象外とする。

エ. フロア別の予定量と実績量、残作業、制約事項を定期更新し、遅れが拡大する前に是正する。

答え・解説 **正答：エ**

ア：全体率だけではどこで遅れているか分からない。

イ：主観だけでは客観的な進捗管理ができない。

ウ：未着手部分も全体工程の重要な構成要素である。

エ：細分化した予定と実績を比較すると、局所的な遅れや制約を早期に把握できる。

総合解説：細分化した予定と実績を比較すると、局所的な遅れや制約を早期に把握できる。この問題では、事実・原因・対策を混同せず、施工管理者として「何を確認し、何を止め、何を是正し、どう再確認するか」まで一連で判断することが重要である。

対象：2026年度 / 法令・制度基準日 2026-08-21

© 2026 資格ブートキャンプ｜個人学習用。法令上認められる場合を除き、無断転載・再配布・販売・第三者への配布・教材等への無断利用を禁止します。利用規約：https://shikaku-bootcamp.com/terms/

0045 工程・品質事例 > 品質不良への対応 ｜ 難易度：基礎

完成前測定で一部回路の絶縁抵抗が基準を満たさない。最も適切な対応はどれか。

ア. 回路を区分して原因箇所を絞り込み、接続・損傷・水分等を調査し、是正後に再測定する。

イ. 測定値だけを書き換えて合格扱いにする。

ウ. 他の回路が良好なら平均値で合格とする。

エ. ブレーカを投入すれば乾燥する可能性があるので、そのまま使用開始する。

答え・解説 **正答：ア**

ア：不適合は原因を特定し、是正と再確認により適合性を証明する必要がある。

イ：記録改ざんは品質保証を失わせる。

ウ：回路ごとの不適合を平均値で相殺できない。

エ：原因不明のまま通電するのは故障・感電・火災リスクがある。

総合解説：不適合は原因を特定し、是正と再確認により適合性を証明する必要がある。 この問題では、事実・原因・対策を混同せず、施工管理者として「何を確認し、何を止め、何を是正し、どう再確認するか」まで一連で判断することが重要である。

対象：2026年度 / 法令・制度基準日 2026-08-21

0046 工程・品質事例 > 品質不良への対応 ｜ 難易度：標準

盤据付後、アンカーボルト位置が施工図とずれていることが判明した。適切な対応はどれか。

ア. 盤が自立していればそのまま使用する。

イ. ずれ量と支持性能への影響を確認し、設計・監督職員と協議して適切な補強・再施工方法を決める。

ウ. ボルト穴を大きく削って無条件で合わせる。

エ. ずれを隠すため架台カバーで見えなくする。

答え・解説 **正答：イ**

ア：見た目の自立だけでは要求性能を保証できない。

イ：寸法不適合は機能・耐震性等への影響を評価し、承認された是正方法で処置する。

ウ：無計画な孔拡大は支持性能を低下させる。

エ：隠ぺいは不適合の解決にならない。

総合解説：寸法不適合は機能・耐震性等への影響を評価し、承認された是正方法で処置する。 この問題では、事実・原因・対策を混同せず、施工管理者として「何を確認し、何を止め、何を是正し、どう再確認するか」まで一連で判断することが重要である。

対象：2026年度 / 法令・制度基準日 2026-08-21

© 2026 資格ブートキャンプ｜個人学習用。法令上認められる場合を除き、無断転載・再配布・販売・第三者への配布・教材等への無断利用を禁止します。利用規約：https://shikaku-bootcamp.com/terms/

0047 工程・品質事例 > 品質不良への対応 ｜ 難易度：基礎

敷設後のケーブル外被に深い傷が見つかった。適切な品質対応はどれか。

ア. 絶縁抵抗が測れる前なら外被傷は無視してよい。

イ. 黒いテープを巻けば損傷程度にかかわらず使用できる。

ウ. 傷の深さ・位置・構造への影響を確認し、メーカー・設計条件に基づき交換または認められた補修を行う。

エ. 傷が見えない向きへ回して固定する。

答え・解説 **正答：ウ**

ア：試験前であることは損傷を許容する根拠にならない。

イ：補修可否は構造・損傷程度・承認方法に基づく必要がある。

ウ：外被損傷は絶縁・防水・機械保護へ影響し得るため、程度を評価して適正に是正する。

エ：見えなくしても性能不良は残る。

総合解説：外被損傷は絶縁・防水・機械保護へ影響し得るため、程度を評価して適正に是正する。 この問題では、事実・原因・対策を混同せず、施工管理者として「何を確認し、何を止め、何を是正し、どう再確認するか」まで一連で判断することが重要である。

対象：2026年度 / 法令・制度基準日 2026-08-21

0048 工程・品質事例 > 品質不良への対応 ｜ 難易度：標準

制御盤の試運転で一部信号が逆動作し、誤配線が疑われる。適切な対応はどれか。

ア. 該当線だけ入れ替え、他の同系統は確認しない。

イ. 機器側のソフト設定で逆動作を打ち消し、配線はそのままにする。

ウ. 一度正常動作すれば記録を残さない。

エ. 試運転を停止し、図面と端子番号を照合して誤配線範囲を特定し、修正後に関連機能を再試験する。

答え・解説 **正答：エ**

ア：単点修正だけでは潜在的誤配線を見逃す。

イ：設計意図と異なるソフト補正は保守性・安全性を損なう。

ウ：原因・是正・確認結果を記録する必要がある。

エ：誤配線は同一原因が他箇所に存在する可能性があり、範囲確認と再試験が必要である。

総合解説：誤配線は同一原因が他箇所に存在する可能性があり、範囲確認と再試験が必要である。 この問題では、事実・原因・対策を混同せず、施工管理者として「何を確認し、何を止め、何を是正し、どう再確認するか」まで一連で判断することが重要である。

対象：2026年度 / 法令・制度基準日 2026-08-21

© 2026 資格ブートキャンプ｜個人学習用。法令上認められる場合を除き、無断転載・再配布・販売・第三者への配布・教材等への無断利用を禁止します。利用規約：https://shikaku-bootcamp.com/terms/

0049 工程・品質事例 > 品質不良への対応 ｜ 難易度：応用

照明器具の一列が基準線からずれて施工されている。適切な対応はどれか。

ア. 規格値・設計意図とずれ量を確認し、不適合範囲を特定して再施工等の是正を行い、他列も水平展開して確認する。

イ. 照明が点灯すれば位置ずれは品質不良ではない。

ウ. 最も目立つ1台だけ直して完了とする。

エ. 完成写真の撮影角度を変えてずれが分からないようにする。

答え・解説 **正答：ア**

ア：仕上がり位置も要求品質の一部であり、範囲確認と水平展開が必要である。

イ：機能だけでなく出来形・外観品質も設計要求に含まれる。

ウ：同一施工方法で発生している可能性があるため代表1台だけでは不十分である。

エ：記録で隠すことは是正ではない。

総合解説：仕上がり位置も要求品質の一部であり、範囲確認と水平展開が必要である。 この問題では、事実・原因・対策を混同せず、施工管理者として「何を確認し、何を止め、何を是正し、どう再確認するか」まで一連で判断することが重要である。

対象：2026年度 / 法令・制度基準日 2026-08-21

0050 工程・品質事例 > 品質不良への対応 ｜ 難易度：標準

天井閉鎖直前に一部の防火区画貫通処理が未施工と判明した。適切な対応はどれか。

ア. 完成後に天井点検口から見える範囲だけ処理する。

イ. 閉鎖を止め、未施工範囲を確認し、所定の防火処理を施工・確認・記録してから閉鎖する。

ウ. ケーブルが難燃性なら防火処理を省略する。

エ. 工程優先で天井を閉じ、竣工後に必要なら開口する。

答え・解説 **正答：イ**

ア：閉鎖後では施工性・確認性が低下する。

イ：隠ぺい前に不適合を確実に是正し、確認記録を残す必要がある。

ウ：ケーブル材料と区画貫通部の防火措置は別の要求である。

エ：手戻りを前提に閉鎖を進めるべきではない。

総合解説：隠ぺい前に不適合を確実に是正し、確認記録を残す必要がある。 この問題では、事実・原因・対策を混同せず、施工管理者として「何を確認し、何を止め、何を是正し、どう再確認するか」まで一連で判断することが重要である。

対象：2026年度 / 法令・制度基準日 2026-08-21

© 2026 資格ブートキャンプ｜個人学習用。法令上認められる場合を除き、無断転載・再配布・販売・第三者への配布・教材等への無断利用を禁止します。利用規約：https://shikaku-bootcamp.com/terms/

0051 工程・品質事例 > 品質不良への対応 ｜ 難易度：基礎

メーカー試験成績書の型式と現場搬入品の銘板型式が一致しない。適切な対応はどれか。

ア. 同じメーカーなので成績書の型式違いは無視する。

イ. 外観が同じなら型式が違っても同等品とみなす。

ウ. 当該機器を使用保留とし、納入品と成績書の対応関係を確認して適合資料を整える。

エ. 完成後に資料だけ差し替えればよいので据付を進める。

答え・解説 **正答：ウ**

ア：メーカー共通だけでは仕様適合を証明できない。

イ：外観一致で電気性能・仕様の同等性は判断できない。

ウ：品質証明資料は実際の納入品と対応している必要がある。

エ：適合確認前に施工を進めると手戻りのリスクがある。

総合解説：品質証明資料は実際の納入品と対応している必要がある。 この問題では、事実・原因・対策を混同せず、施工管理者として「何を確認し、何を止め、何を是正し、どう再確認するか」まで一連で判断することが重要である。

対象：2026年度 / 法令・制度基準日 2026-08-21

0052 工程・品質事例 > 品質不良への対応 ｜ 難易度：標準

同一班が施工した高圧ケーブル端末で寸法ばらつきが見つかった。適切な対応はどれか。

ア. 測定した1本が許容内なら他は確認しない。

イ. 寸法ばらつきは外観上分からなければ問題ない。

ウ. 作業速度を落とすよう注意するだけで再開する。

エ. 施工済み端末を対象範囲ごと確認し、作業手順・治具・教育状態を調べて原因を是正してから施工を再開する。

答え・解説 **正答：エ**

ア：同一班・同一方法なら他にも影響がある可能性がある。

イ：高圧端末は寸法・界面状態が性能へ影響する。

ウ：抽象的注意だけでは原因対策にならない。

エ：ばらつきは工程能力・作業方法の問題を示すため、施工済み範囲と工程要因を確認する必要がある。

総合解説：ばらつきは工程能力・作業方法の問題を示すため、施工済み範囲と工程要因を確認する必要がある。 この問題では、事実・原因・対策を混同せず、施工管理者として「何を確認し、何を止め、何を是正し、どう再確認するか」まで一連で判断することが重要である。

対象：2026年度 / 法令・制度基準日 2026-08-21

© 2026 資格ブートキャンプ｜個人学習用。法令上認められる場合を除き、無断転載・再配布・販売・第三者への配布・教材等への無断利用を禁止します。利用規約：https://shikaku-bootcamp.com/terms/

0053 工程・品質事例 > 品質不良への対応 ｜ 難易度：応用

完成検査で接地線端子の緩みが複数見つかった。適切な対応はどれか。

ア. 該当箇所を是正するとともに、同じ工具・作業班・施工期間の接続部を水平展開して確認し、締付け管理方法を見直す。

イ. 指摘された端子だけ締め直して完了とする。

ウ. 接地線は通常電流が流れないため軽微な不良として扱う。

エ. 緩み防止のためすべての端子へ接着剤を追加する。

答え・解説 **正答：ア**

ア：複数発生は共通原因の可能性が高く、範囲確認とプロセス是正が必要である。

イ：個別是正だけでは再発・潜在不良を残す。

ウ：保護機能に関わる接地接続は重要な品質項目である。

エ：承認されていない材料追加は別の不具合を生む可能性がある。

総合解説：複数発生は共通原因の可能性が高く、範囲確認とプロセス是正が必要である。 この問題では、事実・原因・対策を混同せず、施工管理者として「何を確認し、何を止め、何を是正し、どう再確認するか」まで一連で判断することが重要である。

対象：2026年度 / 法令・制度基準日 2026-08-21

0054 工程・品質事例 > 品質不良への対応 ｜ 難易度：標準

品質不良を是正した後の記録として最も適切なものはどれか。

ア. 是正後に見た目が正常なら不適合記録は廃棄する。

イ. 不適合内容、原因、処置、再確認結果、必要な水平展開を追跡できるよう記録する。

ウ. 担当者名だけ記録し、原因や再確認結果は残さない。

エ. 不適合件数を少なく見せるため同種不良を1件として詳細を省略する。

答え・解説 **正答：イ**

ア：是正後も品質保証と再発防止のため記録を保持する。

イ：不適合管理は事実・原因・処置・有効性確認を追跡できることが重要である。

ウ：担当者名だけでは処置の妥当性を確認できない。

エ：集計上まとめても個別範囲や是正結果を追跡できる必要がある。

総合解説：不適合管理は事実・原因・処置・有効性確認を追跡できることが重要である。 この問題では、事実・原因・対策を混同せず、施工管理者として「何を確認し、何を止め、何を是正し、どう再確認するか」まで一連で判断することが重要である。

対象：2026年度 / 法令・制度基準日 2026-08-21

© 2026 資格ブートキャンプ｜個人学習用。法令上認められる場合を除き、無断転載・再配布・販売・第三者への配布・教材等への無断利用を禁止します。利用規約：https://shikaku-bootcamp.com/terms/

0055 工程・品質事例 > 出来形判定 ｜ 難易度：基礎

ケーブルラックの施工高さを測定したところ、一部が施工図の基準から外れていた。出来形判定として適切なものはどれか。

ア. 平均高さが合っていれば局所的な外れは無視する。

イ. 目視で違和感がなければ測定値を採用しない。

ウ. 測定基準・許容範囲を確認し、外れた区間の範囲と他設備干渉への影響を評価して是正要否を判断する。

エ. 他設備と干渉していても電気的機能があれば合格とする。

答え・解説 **正答：ウ**

ア：平均値だけでは個々の規格外を相殺できない。

イ：客観的測定値に基づき判定する必要がある。

ウ：出来形は定めた測定基準・規格値により判定し、局所的不適合も影響を評価する。

エ：納まり・保守空間等も要求性能の一部である。

総合解説：出来形は定めた測定基準・規格値により判定し、局所的不適合も影響を評価する。 この問題では、事実・原因・対策を混同せず、施工管理者として「何を確認し、何を止め、何を是正し、どう再確認するか」まで一連で判断することが重要である。

対象：2026年度 / 法令・制度基準日 2026-08-21

0056 工程・品質事例 > 出来形判定 ｜ 難易度：標準

盤列の水平・通りを確認する場合の適切な判定方法はどれか。

ア. 端の1面だけ測定し、中央部は目視で判定する。

イ. 床自体が傾いていれば盤も同じ傾きでよいとする。

ウ. 測定値は最も良い箇所だけ記録する。

エ. 基準点・測定位置を定め、各盤および盤列全体を測定し、要求された許容範囲と比較する。

答え・解説 **正答：エ**

ア：一部測定だけでは盤列全体の出来形を確認できない。

イ：盤の設置精度は床の不陸と切り分けて調整する必要がある。

ウ：都合のよい値だけの記録は客観性を失う。

エ：測定位置と基準を統一し、対象全体を代表できるデータで判定する必要がある。

総合解説：測定位置と基準を統一し、対象全体を代表できるデータで判定する必要がある。 この問題では、事実・原因・対策を混同せず、施工管理者として「何を確認し、何を止め、何を是正し、どう再確認するか」まで一連で判断することが重要である。

対象：2026年度 / 法令・制度基準日 2026-08-21

© 2026 資格ブートキャンプ｜個人学習用。法令上認められる場合を除き、無断転載・再配布・販売・第三者への配布・教材等への無断利用を禁止します。利用規約：https://shikaku-bootcamp.com/terms/

0057 工程・品質事例 > 出来形判定 ｜ 難易度：標準

埋設電線管の深さを埋戻し前に確認する場合、最も適切なものはどれか。

ア. 基準となる仕上がり高さ等を明確にして複数箇所を測定し、後日確認できるよう記録する。

イ. 掘削底からの距離だけ測れば完成時の埋設深さが分かる。

ウ. 埋戻し後に地表から推定できるので事前測定は不要である。

エ. 最深部1点だけ測定すれば全区間を代表できる。

答え・解説 **正答：ア**

ア：出来形は完成状態に対応する基準から測定し、隠ぺい前に必要な記録を残す。

イ：掘削底は埋戻し・仕上がり高さとの関係が不明な場合がある。

ウ：埋戻し後は正確な確認が困難になる。

エ：長い区間は複数点で施工ばらつきを確認する必要がある。

総合解説：出来形は完成状態に対応する基準から測定し、隠ぺい前に必要な記録を残す。 この問題では、事実・原因・対策を混同せず、施工管理者として「何を確認し、何を止め、何を是正し、どう再確認するか」まで一連で判断することが重要である。

対象：2026年度 / 法令・制度基準日 2026-08-21

0058 工程・品質事例 > 出来形判定 ｜ 難易度：基礎

天井照明器具の配置出来形を判定する方法として適切なものはどれか。

ア. 器具相互の間隔がほぼ同じなら建物基準線との位置は確認しない。

イ. 基準墨・通り芯等から位置を測定し、列の通りと個々の位置を施工図と比較する。

ウ. 点灯状態が均一なら位置測定は不要である。

エ. 写真映えが良いかどうかだけで判定する。

答え・解説 **正答：イ**

ア：相互間隔だけでは全体がずれている場合を検出できない。

イ：配置の出来形は設計基準位置との関係で客観的に確認する。

ウ：照度・点灯と取付位置の適否は別の評価項目である。

エ：主観では規格適合を判定できない。

総合解説：配置の出来形は設計基準位置との関係で客観的に確認する。 この問題では、事実・原因・対策を混同せず、施工管理者として「何を確認し、何を止め、何を是正し、どう再確認するか」まで一連で判断することが重要である。

対象：2026年度 / 法令・制度基準日 2026-08-21

© 2026 資格ブートキャンプ｜個人学習用。法令上認められる場合を除き、無断転載・再配布・販売・第三者への配布・教材等への無断利用を禁止します。利用規約：https://shikaku-bootcamp.com/terms/

0059 工程・品質事例 > 出来形判定 ｜ 難易度：応用

小さな据付誤差を判定する測定で、使用器具の選定として適切なものはどれか。

ア. 許容差より粗い目盛の器具でも作業者が熟練していれば使用する。

イ. 測定器は種類を問わず同じ結果になるとみなす。

ウ. 要求される許容差に対して十分な分解能・精度を持つ測定器を使用する。

エ. 測定値が規格値付近のときは測定器の精度を考慮しない。

答え・解説 **正答：ウ**

ア：技能で器具の分解能不足を補えない。

イ：測定原理・精度により適用範囲が異なる。

ウ：測定方法の能力が判定基準より粗いと、適否を信頼して判定できない。

エ：境界値付近ほど測定不確かさへの配慮が重要である。

総合解説：測定方法の能力が判定基準より粗いと、適否を信頼して判定できない。 この問題では、事実・原因・対策を混同せず、施工管理者として「何を確認し、何を止め、何を是正し、どう再確認するか」まで一連で判断することが重要である。

対象：2026年度 / 法令・制度基準日 2026-08-21

0060 工程・品質事例 > 出来形判定 ｜ 難易度：標準

同一工法で多数施工した支持金物の出来形を抽出測定する場合の考え方として適切なものはどれか。

ア. 作業者が自信のある箇所だけを選んで測定する。

イ. 最初の1箇所が適合なら以後の測定は不要とする。

ウ. 不適合が出ても抽出数は増やさない。

エ. 施工範囲とばらつきを代表できる抽出方法を定め、異常が出た場合は測定範囲を拡大する。

答え・解説 **正答：エ**

ア：選択バイアスがあると実態を代表できない。

イ：一箇所では工程全体の安定性を保証できない。

ウ：不適合発生時は範囲を特定する必要がある。

エ：抽出測定は代表性が必要で、異常時には全体影響を確認するため追加確認する。

総合解説：抽出測定は代表性が必要で、異常時には全体影響を確認するため追加確認する。 この問題では、事実・原因・対策を混同せず、施工管理者として「何を確認し、何を止め、何を是正し、どう再確認するか」まで一連で判断することが重要である。

対象：2026年度 / 法令・制度基準日 2026-08-21

© 2026 資格ブートキャンプ｜個人学習用。法令上認められる場合を除き、無断転載・再配布・販売・第三者への配布・教材等への無断利用を禁止します。利用規約：https://shikaku-bootcamp.com/terms/

0061 工程・品質事例 > 出来形判定 ｜ 難易度：応用

出来形記録の数値と写真のスケール表示が一致しない。適切な対応はどれか。

ア. 原記録・測定位置・写真を照合して事実を再確認し、誤記なら訂正履歴を残し、必要なら再測定する。

イ. 数値記録を写真に合わせて無記録で修正する。

ウ. 写真を削除して数値記録だけ残す。

エ. どちらかが規格内なら不一致を無視する。

答え・解説 **正答：ア**

ア：品質記録間の不整合は追跡性の問題であり、事実確認と適切な訂正管理が必要である。

イ：無記録修正は記録の信頼性を損なう。

ウ：証拠を削除しても不整合の原因は解消しない。

エ：規格適合とは別に記録の整合性を確保する必要がある。

総合解説：品質記録間の不整合は追跡性の問題であり、事実確認と適切な訂正管理が必要である。 この問題では、事実・原因・対策を混同せず、施工管理者として「何を確認し、何を止め、何を是正し、どう再確認するか」まで一連で判断することが重要である。

対象：2026年度 / 法令・制度基準日 2026-08-21

0062 工程・品質事例 > 出来形判定 ｜ 難易度：標準

測定値が規格値の限界付近である場合の判定として最も適切なものはどれか。

ア. 合格に近いので施工者に有利な方向へ丸める。

イ. 測定方法・基準点・器具の状態を確認し、必要に応じ再測定して客観的に判定する。

ウ. 規格値の限界付近はすべて不合格とする。

エ. 測定者を変えて良い値が出るまで繰り返す。

答え・解説 **正答：イ**

ア：都合のよい丸めは客観性を失う。

イ：境界値では測定の妥当性を確認し、恣意性のない方法で判定する必要がある。

ウ：限界付近であることだけで不合格にはならない。

エ：良い値だけを採用する繰返しは不適切である。

総合解説：境界値では測定の妥当性を確認し、恣意性のない方法で判定する必要がある。 この問題では、事実・原因・対策を混同せず、施工管理者として「何を確認し、何を止め、何を是正し、どう再確認するか」まで一連で判断することが重要である。

対象：2026年度 / 法令・制度基準日 2026-08-21

© 2026 資格ブートキャンプ｜個人学習用。法令上認められる場合を除き、無断転載・再配布・販売・第三者への配布・教材等への無断利用を禁止します。利用規約：https://shikaku-bootcamp.com/terms/

0063 安全事例 > 災害原因分析 ｜ 難易度：基礎

照明器具交換中、作業員が脚立最上部付近で体を乗り出して転落した。原因分析として最も適切なものはどれか。

ア. 本人の運動能力不足だけを原因とする。

イ. 器具が重かったことだけを原因とする。

ウ. 「不注意」だけで終えず、不適切な作業方法選定、作業高さに合う設備未選定、事前リスク評価不足を原因として調べる。

エ. 事故後に脚立が破損したことを原因とする。

答え・解説 **正答：ウ**

ア：個人要因だけでは再発防止につながりにくい。

イ：重量だけでは不安定姿勢を選択した管理要因を説明できない。

ウ：原因分析では人的行動だけでなく、その行動を生んだ作業方法・設備選定・管理要因まで掘り下げる。

エ：事故後の破損は結果であり原因とは限らない。

総合解説：原因分析では人的行動だけでなく、その行動を生んだ作業方法・設備選定・管理要因まで掘り下げる。 この問題では、事実・原因・対策を混同せず、施工管理者として「何を確認し、何を止め、何を是正し、どう再確認するか」まで一連で判断することが重要である。

対象：2026年度 / 法令・制度基準日 2026-08-21

0064 安全事例 > 災害原因分析 ｜ 難易度：標準

停電作業中に別系統から逆送電され、作業員が感電した。原因分析として最も重要なものはどれか。

ア. 被災者が厚手の手袋をしていなかったことだけを原因とする。

イ. 逆送電は予測不能として原因分析を終了する。

ウ. 設備が古いことだけを原因とする。

エ. 電源系統の把握、逆送可能性の確認、開路・施錠、検電等の停電確認手順が機能していたかを検証する。

答え・解説 **正答：エ**

ア：保護具だけに原因を帰すと電源隔離の欠陥を見逃す。

イ：予測可能な電気的危険として事前確認が必要である。

ウ：設備年数だけでは事故の直接・管理原因を特定できない。

エ：逆送電は系統調査と停電確認手順で管理すべき危険であり、防護層の欠落を調べる必要がある。

総合解説：逆送電は系統調査と停電確認手順で管理すべき危険であり、防護層の欠落を調べる必要がある。 この問題では、事実・原因・対策を混同せず、施工管理者として「何を確認し、何を止め、何を是正し、どう再確認するか」まで一連で判断することが重要である。

対象：2026年度 / 法令・制度基準日 2026-08-21

© 2026 資格ブートキャンプ｜個人学習用。法令上認められる場合を除き、無断転載・再配布・販売・第三者への配布・教材等への無断利用を禁止します。利用規約：https://shikaku-bootcamp.com/terms/

0065 安全事例 > 災害原因分析 ｜ 難易度：基礎

盤揚重中に吊荷が作業員へ接触した。原因分析として適切なものはどれか。

ア. 荷の重心・玉掛け、合図系統、旋回範囲の立入管理、誘導方法、作業計画の妥当性を確認する。

イ. 接触した作業員が逃げるのが遅かったことだけを原因とする。

ウ. クレーン運転者の性格を原因とする。

エ. 荷が重かったことだけを原因とする。

答え・解説 **正答：ア**

ア：揚重災害は荷の安定、運転・合図、立入管理など複数の防護層を分析する。

イ：被災者行動だけでは危険区域へ入れた管理上の問題を見逃す。

ウ：性格ではなく具体的な行動・手順・条件を分析する。

エ：重量は一要因でも、それに応じた計画が適切だったかが重要である。

総合解説：揚重災害は荷の安定、運転・合図、立入管理など複数の防護層を分析する。 この問題では、事実・原因・対策を混同せず、施工管理者として「何を確認し、何を止め、何を是正し、どう再確認するか」まで一連で判断することが重要である。

対象：2026年度 / 法令・制度基準日 2026-08-21

0066 安全事例 > 災害原因分析 ｜ 難易度：標準

天井内作業中の工具が落下し、下を通行していた第三者に当たりそうになった。原因分析で重要なものはどれか。

ア. 工具を落とした作業員の握力だけを調べる。

イ. 工具の落下防止、下部立入禁止、上下作業調整、作業区域設定がなぜ機能しなかったかを確認する。

ウ. 第三者が偶然通ったことを唯一の原因とする。

エ. 工具が小型だったため重大事故にならなかったと結論づける。

答え・解説 **正答：イ**

ア：個人能力だけでは環境・管理の問題を捉えられない。

イ：ヒヤリハットでも防護措置の欠落を分析し、重大災害へ発展する前に是正する。

ウ：第三者が通行できたこと自体が立入管理上の問題である。

エ：結果の軽重ではなく発生メカニズムを評価する必要がある。

総合解説：ヒヤリハットでも防護措置の欠落を分析し、重大災害へ発展する前に是正する。 この問題では、事実・原因・対策を混同せず、施工管理者として「何を確認し、何を止め、何を是正し、どう再確認するか」まで一連で判断することが重要である。

対象：2026年度 / 法令・制度基準日 2026-08-21

© 2026 資格ブートキャンプ｜個人学習用。法令上認められる場合を除き、無断転載・再配布・販売・第三者への配布・教材等への無断利用を禁止します。利用規約：https://shikaku-bootcamp.com/terms/

0067 安全事例 > 災害原因分析 ｜ 難易度：応用

埋設配管工事の掘削溝で側壁が崩れた。原因分析として最も適切なものはどれか。

ア. 崩れた土が軟らかかったことだけを原因とする。

イ. 作業員の退避が遅かったことを崩壊原因とする。

ウ. 地山状態・地下水・掘削深さ、土止め計画、降雨後点検、掘削土の位置等を総合的に確認する。

エ. 掘削機のメーカーだけを調べる。

答え・解説 **正答：ウ**

ア：土質は要因だが、それに応じた対策の妥当性が重要である。

イ：退避は被害拡大要因であって崩壊発生原因とは別である。

ウ：掘削崩壊は地山条件と施工・支保・点検等の管理条件を合わせて分析する必要がある。

エ：機械メーカーは崩壊メカニズムの主要確認項目ではない。

総合解説：掘削崩壊は地山条件と施工・支保・点検等の管理条件を合わせて分析する必要がある。 この問題では、事実・原因・対策を混同せず、施工管理者として「何を確認し、何を止め、何を是正し、どう再確認するか」まで一連で判断することが重要である。

対象：2026年度 / 法令・制度基準日 2026-08-21

0068 安全事例 > 災害原因分析 ｜ 難易度：標準

作業員が電気室内に残っている状態で復電操作が行われた。原因分析として重要なものはどれか。

ア. 復電操作をした人だけを処分して終了する。

イ. 残っていた作業員が声を出さなかったことだけを原因とする。

ウ. 事故にならなかったので原因分析しない。

エ. 復電許可の責任者、作業完了連絡、人員・工具確認、施錠札管理、操作権限の手順を検証する。

答え・解説 **正答：エ**

ア：個人処分だけでは同じ手順欠陥が残る。

イ：作業員側の行動だけに帰責すると復電管理の欠陥を見逃す。

ウ：重大災害につながるニアミスとして分析すべきである。

エ：誤復電は情報伝達・権限・確認プロセスの複数不備が関係するため、システムとして分析する。

総合解説：誤復電は情報伝達・権限・確認プロセスの複数不備が関係するため、システムとして分析する。 この問題では、事実・原因・対策を混同せず、施工管理者として「何を確認し、何を止め、何を是正し、どう再確認するか」まで一連で判断することが重要である。

対象：2026年度 / 法令・制度基準日 2026-08-21

© 2026 資格ブートキャンプ｜個人学習用。法令上認められる場合を除き、無断転載・再配布・販売・第三者への配布・教材等への無断利用を禁止します。利用規約：https://shikaku-bootcamp.com/terms/

0069 安全事例 > 災害原因分析 ｜ 難易度：基礎

資材搬入車両が構内で誘導員に接触した。原因分析で最も適切なものはどれか。

ア. 車両動線、死角、後退方法、誘導員位置、合図方法、歩車分離、速度管理を確認する。

イ. 運転者の注意力だけを原因とする。

ウ. 誘導員の服の色だけを原因とする。

エ. 車両が大型だったため不可避だったとする。

答え・解説 **正答：ア**

ア：車両災害は動線設計・役割・視認性・操作手順の組合せで分析する。

イ：注意力だけでは構造的な死角・動線問題が残る。

ウ：服装は一要素でも合図・位置・分離等を含めて評価する必要がある。

エ：大型車ほど事前計画が重要で、不可避とはいえない。

総合解説：車両災害は動線設計・役割・視認性・操作手順の組合せで分析する。 この問題では、事実・原因・対策を混同せず、施工管理者として「何を確認し、何を止め、何を是正し、どう再確認するか」まで一連で判断することが重要である。

対象：2026年度 / 法令・制度基準日 2026-08-21

0070 安全事例 > 災害原因分析 ｜ 難易度：標準

ケーブル加工中にナイフで手を切った。原因分析として適切なものはどれか。

ア. 切れ味が良すぎたことだけを原因とする。

イ. 工具選定、刃の向き、固定方法、作業姿勢、保護具、作業手順・教育を確認する。

ウ. 被災者が若かったことを原因とする。

エ. 切創は軽傷なので作業方法は分析しない。

答え・解説 **正答：イ**

ア：工具特性に合う安全な使い方を管理すべきである。

イ：手工具災害でも危険な動作を生む作業方法と設備・教育要因を分析する必要がある。

ウ：年齢だけでは具体的な原因にならない。

エ：軽傷でも同じメカニズムが重大傷害へ発展し得る。

総合解説：手工具災害でも危険な動作を生む作業方法と設備・教育要因を分析する必要がある。 この問題では、事実・原因・対策を混同せず、施工管理者として「何を確認し、何を止め、何を是正し、どう再確認するか」まで一連で判断することが重要である。

対象：2026年度 / 法令・制度基準日 2026-08-21

© 2026 資格ブートキャンプ｜個人学習用。法令上認められる場合を除き、無断転載・再配布・販売・第三者への配布・教材等への無断利用を禁止します。利用規約：https://shikaku-bootcamp.com/terms/

0071 安全事例 > 災害原因分析 ｜ 難易度：応用

地下ピット内で作業員が体調不良を訴えた。原因分析の初動として重要なものはどれか。

ア. すぐに同僚が無防備でピットへ入り救助する。

イ. 体調不良は本人の持病と決めつける。

ウ. 救助者の二次災害を防ぎつつ、換気・環境測定・作業許可・監視体制等が適切だったかを確認する。

エ. 作業を再開して同じ症状が出るか確認する。

答え・解説 **正答：ウ**

ア：無防備な救助は二次災害につながる。

イ：原因未確認で個人要因に決めつけるのは危険である。

ウ：閉所・ピットでは環境要因による急性危険を想定し、二次災害防止と作業条件の検証が必要である。

エ：再現試験のように人を危険へさらしてはならない。

総合解説：閉所・ピットでは環境要因による急性危険を想定し、二次災害防止と作業条件の検証が必要である。 この問題では、事実・原因・対策を混同せず、施工管理者として「何を確認し、何を止め、何を是正し、どう再確認するか」まで一連で判断することが重要である。

対象：2026年度 / 法令・制度基準日 2026-08-21

0072 安全事例 > 災害原因分析 ｜ 難易度：標準

改修工事中の切断作業後、付近の可燃物から出火した。原因分析として最も適切なものはどれか。

ア. 切断工具が古かったことだけを原因とする。

イ. 出火まで時間が空いたので工事とは無関係とする。

ウ. 火を見つけた人の通報が遅かったことだけを原因とする。

エ. 火気作業範囲の可燃物除去・養生、火花飛散範囲、消火設備、監視、作業後の残火確認を検証する。

答え・解説 **正答：エ**

ア：工具年数だけでは可燃物管理の不備を説明できない。

イ：遅れて発火する可能性もあるため時間差だけで除外できない。

ウ：通報遅れは被害拡大要因で、出火原因とは別に分析する。

エ：火気作業では発火防止と作業後監視まで含めた管理を分析する必要がある。

総合解説：火気作業では発火防止と作業後監視まで含めた管理を分析する必要がある。 この問題では、事実・原因・対策を混同せず、施工管理者として「何を確認し、何を止め、何を是正し、どう再確認するか」まで一連で判断することが重要である。

対象：2026年度 / 法令・制度基準日 2026-08-21

© 2026 資格ブートキャンプ｜個人学習用。法令上認められる場合を除き、無断転載・再配布・販売・第三者への配布・教材等への無断利用を禁止します。利用規約：https://shikaku-bootcamp.com/terms/

0073 安全事例 > 災害原因分析 ｜ 難易度：基礎

高所作業車のブームが架空電線へ接近しヒヤリハットとなった。原因分析として適切なものはどれか。

ア. 架空線位置・電圧の事前調査、安全距離確保、作業範囲制限、誘導・監視、車両配置計画を確認する。

イ. 運転者が架空線を見落としたことだけを原因とする。

ウ. 架空線は現場外設備なので施工計画の対象外とする。

エ. 接触しなかったので原因分析しない。

答え・解説 **正答：ア**

ア：架空線近接は事前調査と物理的・管理的な接近防止策で管理すべき危険である。

イ：個人の見落としだけでは計画・監視の防護層欠落を見逃す。

ウ：周辺既設物も施工安全に影響するため調査対象である。

エ：重大感電災害につながるニアミスとして扱う。

総合解説：架空線近接は事前調査と物理的・管理的な接近防止策で管理すべき危険である。この問題では、事実・原因・対策を混同せず、施工管理者として「何を確認し、何を止め、何を是正し、どう再確認するか」まで一連で判断することが重要である。

対象：2026年度 / 法令・制度基準日 2026-08-21

0074 安全事例 > 災害原因分析 ｜ 難易度：標準

仮設ケーブルにつまずいて作業員が転倒した。原因分析として最も適切なものはどれか。

ア. 転倒者の歩き方だけを原因とする。

イ. 仮設配線経路、通路横断方法、養生・表示、整理整頓、照度、巡回点検の状況を確認する。

ウ. 仮設なので正式な配線管理は不要とする。

エ. 怪我が軽ければ原因を記録しない。

答え・解説 **正答：イ**

ア：歩行者だけでなく環境側の危険源を除去すべきである。

イ：通路上の仮設物は計画・養生・点検で管理し、人的要因だけに帰さないことが重要である。

ウ：仮設設備にも安全な使用状態を維持する必要がある。

エ：軽傷でも再発可能性の高い事象は改善対象となる。

総合解説：通路上の仮設物は計画・養生・点検で管理し、人的要因だけに帰さないことが重要である。 この問題では、事実・原因・対策を混同せず、施工管理者として「何を確認し、何を止め、何を是正し、どう再確認するか」まで一連で判断することが重要である。

対象：2026年度 / 法令・制度基準日 2026-08-21

© 2026 資格ブートキャンプ｜個人学習用。法令上認められる場合を除き、無断転載・再配布・販売・第三者への配布・教材等への無断利用を禁止します。利用規約：https://shikaku-bootcamp.com/terms/

0075 安全事例 > 再発防止 ｜ 難易度：基礎

誤送電による感電事故の再発防止策として最も適切なものはどれか。

ア. 全員へ「感電に注意」と周知するだけにする。

イ. 被災者だけ再教育し、設備・手順は変えない。

ウ. 電源系統確認、開路・施錠札、検電、復電許可手順を標準化し、責任者と作業者で相互確認する。

エ. 絶縁手袋を厚くすることだけで再発防止とする。

答え・解説 **正答：ウ**

ア：抽象的注意だけでは誤送電を防げない。

イ：個人教育だけでは同じ手順欠陥が残る。

ウ：再発防止は危険源隔離と確認プロセスを強化し、人の注意だけに依存しないことが重要である。

エ：保護具は重要だが、誤送電そのものを防ぐ対策を優先すべきである。

総合解説：再発防止は危険源隔離と確認プロセスを強化し、人の注意だけに依存しないことが重要である。 この問題では、事実・原因・対策を混同せず、施工管理者として「何を確認し、何を止め、何を是正し、どう再確認するか」まで一連で判断することが重要である。

対象：2026年度 / 法令・制度基準日 2026-08-21

0076 安全事例 > 再発防止 ｜ 難易度：標準

脚立からの転落が発生した後の再発防止策として適切なものはどれか。

ア. 脚立に「注意」のシールを追加するだけにする。

イ. 経験5年以上の作業員だけ脚立最上部作業を許可する。

ウ. 転落者へ安全帯着用を指示するだけで作業方法は変えない。

エ. 作業高さに応じた作業床・高所作業車等の選定基準を定め、脚立で無理な姿勢となる作業を禁止する。

答え・解説 **正答：エ**

ア：表示だけでは危険な作業方法が残る。

イ：経験年数で物理的な不安定性は解消しない。

ウ：個人防護だけでなく安全な作業設備へ置換する必要がある。

エ：事故を生んだ不適切な作業方法を変えることが再発防止の中心である。

総合解説：事故を生んだ不適切な作業方法を変えることが再発防止の中心である。 この問題では、事実・原因・対策を混同せず、施工管理者として「何を確認し、何を止め、何を是正し、どう再確認するか」まで一連で判断することが重要である。

対象：2026年度 / 法令・制度基準日 2026-08-21

© 2026 資格ブートキャンプ｜個人学習用。法令上認められる場合を除き、無断転載・再配布・販売・第三者への配布・教材等への無断利用を禁止します。利用規約：https://shikaku-bootcamp.com/terms/

0077 安全事例 > 再発防止 ｜ 難易度：基礎

吊荷接触事故の再発防止策として最も適切なものはどれか。

ア. 揚重計画を見直し、吊荷経路と立入禁止区域を明確化し、合図者を一本化して作業前に共有する。

イ. 運転者へ徐行を指示するだけにする。

ウ. 接触した作業員を揚重作業から外すだけにする。

エ. 吊荷を小さく分ければ立入管理は不要とする。

答え・解説 **正答：ア**

ア：揚重災害は経路・立入管理・合図系統を仕組みとして改善する必要がある。

イ：速度低減だけでは人と吊荷が同一空間に入る問題が残る。

ウ：個人排除では同じ管理欠陥が別の人に及ぶ。

エ：小型吊荷でも落下・接触リスクがある。

総合解説：揚重災害は経路・立入管理・合図系統を仕組みとして改善する必要がある。 この問題では、事実・原因・対策を混同せず、施工管理者として「何を確認し、何を止め、何を是正し、どう再確認するか」まで一連で判断することが重要である。

対象：2026年度 / 法令・制度基準日 2026-08-21

0078 安全事例 > 再発防止 ｜ 難易度：標準

工具落下のヒヤリハット後、最も有効な再発防止策はどれか。

ア. 工具を落とした作業員にだけ始末書を書かせる。

イ. 工具落下防止具の使用、下部立入禁止、工具受け・収納方法、上下作業調整を標準化する。

ウ. 下を通る人へ上を見て歩くよう指示する。

エ. 工具を軽量品に変えれば落下防止具は不要とする。

答え・解説 **正答：イ**

ア：処分だけでは仕組みが変わらない。

イ：発生源での落下防止と暴露側の立入管理を組み合わせることが有効である。

ウ：第三者へ回避を求めるだけでは不十分である。

エ：軽量でも落下高さによって危険となる。

総合解説：発生源での落下防止と暴露側の立入管理を組み合わせることが有効である。 この問題では、事実・原因・対策を混同せず、施工管理者として「何を確認し、何を止め、何を是正し、どう再確認するか」まで一連で判断することが重要である。

対象：2026年度 / 法令・制度基準日 2026-08-21

© 2026 資格ブートキャンプ｜個人学習用。法令上認められる場合を除き、無断転載・再配布・販売・第三者への配布・教材等への無断利用を禁止します。利用規約：https://shikaku-bootcamp.com/terms/

0079 安全事例 > 再発防止 ｜ 難易度：応用

端子緩みが原因で発熱した事象の再発防止策として最も適切なものはどれか。

ア. 完成後の温度上昇を見つけたら締める運用だけにする。

イ. 作業員へ「強く締める」よう指示する。

ウ. 指定トルク管理、工具管理、施工記録、同一施工範囲の水平展開確認を組み合わせる。

エ. 発熱した端子だけ交換し、他箇所は確認しない。

答え・解説 **正答：ウ**

ア：事後対応だけでは予防にならない。

イ：過大締付けも不具合原因となるため指定値管理が必要である。

ウ：接続品質の工程管理と潜在範囲確認を行うことで再発・類似事故を防止する。

エ：共通原因があれば他箇所にも潜在不良がある。

総合解説：接続品質の工程管理と潜在範囲確認を行うことで再発・類似事故を防止する。 この問題では、事実・原因・対策を混同せず、施工管理者として「何を確認し、何を止め、何を是正し、どう再確認するか」まで一連で判断することが重要である。

対象：2026年度 / 法令・制度基準日 2026-08-21

0080 安全事例 > 再発防止 ｜ 難易度：標準

掘削溝の崩壊事故後の再発防止策として適切なものはどれか。

ア. 作業員に早く逃げる訓練だけを行う。

イ. 事故箇所だけ埋め戻し、他の掘削箇所は従来手順を続ける。

ウ. 天気予報が晴れなら地山点検を省略する。

エ. 地山・地下水を再評価し、土止めや掘削勾配、掘削土配置、降雨後点検を作業計画へ反映する。

答え・解説 **正答：エ**

ア：退避は被害軽減策であり崩壊防止の根本対策ではない。

イ：同じ条件の箇所へ再発防止を展開する必要がある。

ウ：地山状態は天候だけで判断できない。

エ：発生条件を作業計画へ反映し、同種作業へ水平展開することが必要である。

総合解説：発生条件を作業計画へ反映し、同種作業へ水平展開することが必要である。 この問題では、事実・原因・対策を混同せず、施工管理者として「何を確認し、何を止め、何を是正し、どう再確認するか」まで一連で判断することが重要である。

対象：2026年度 / 法令・制度基準日 2026-08-21

© 2026 資格ブートキャンプ｜個人学習用。法令上認められる場合を除き、無断転載・再配布・販売・第三者への配布・教材等への無断利用を禁止します。利用規約：https://shikaku-bootcamp.com/terms/

0081 安全事例 > 再発防止 ｜ 難易度：基礎

搬入車両と歩行者の接触事故後の再発防止策として最も適切なものはどれか。

ア. 歩車動線を分離し、後退を減らす搬入計画、誘導位置・合図、速度管理を見直す。

イ. 歩行者へ車両優先を周知するだけにする。

ウ. 事故車両の運転者だけ交代する。

エ. 誘導員を増やすだけで動線は変えない。

答え・解説 **正答：ア**

ア：接触機会を減らす動線設計を優先し、誘導等を補完策として組み合わせる。

イ：歩行者側だけに回避責任を負わせるのは不十分である。

ウ：運転者交代では構内動線の危険が残る。

エ：人数増加だけでは役割混乱を招く場合がある。

総合解説：接触機会を減らす動線設計を優先し、誘導等を補完策として組み合わせる。 この問題では、事実・原因・対策を混同せず、施工管理者として「何を確認し、何を止め、何を是正し、どう再確認するか」まで一連で判断することが重要である。

対象：2026年度 / 法令・制度基準日 2026-08-21

0082 安全事例 > 再発防止 ｜ 難易度：標準

切断火花による火災後の再発防止策として最も適切なものはどれか。

ア. 作業者に水バケツを持たせるだけにする。

イ. 火気作業許可、可燃物除去・不燃養生、消火器配置、火花監視、作業後の残火確認を標準化する。

ウ. 火災が起きた場所だけ火気禁止にする。

エ. 切断時間を短くすることだけで再発防止とする。

答え・解説 **正答：イ**

ア：消火準備だけでは発火防止が不足する。

イ：発火前・作業中・作業後の複数段階で防火措置を設ける必要がある。

ウ：同様の火気作業全体へ対策を展開すべきである。

エ：短時間でも火花が可燃物へ到達すれば発火し得る。

総合解説：発火前・作業中・作業後の複数段階で防火措置を設ける必要がある。 この問題では、事実・原因・対策を混同せず、施工管理者として「何を確認し、何を止め、何を是正し、どう再確認するか」まで一連で判断することが重要である。

対象：2026年度 / 法令・制度基準日 2026-08-21

© 2026 資格ブートキャンプ｜個人学習用。法令上認められる場合を除き、無断転載・再配布・販売・第三者への配布・教材等への無断利用を禁止します。利用規約：https://shikaku-bootcamp.com/terms/

0083 安全事例 > 再発防止 ｜ 難易度：応用

是正対策を実施した後の再発防止管理として最も適切なものはどれか。

ア. 対策文書を発行した時点で完了とする。

イ. 教育を1回実施したら、その後の遵守状況は確認しない。

ウ. 一定期間の巡回・測定・不具合件数等で対策の実施状況と有効性を確認し、必要なら追加改善する。

エ. 再発しなければ対策が実施されていなくても問題ないとする。

答え・解説 **正答：ウ**

ア：文書化だけでは現場行動が変わったか分からない。

イ：教育内容の定着・手順遵守を確認する必要がある。

ウ：再発防止は対策の実施だけでなく、実際に機能しているか確認して閉じる必要がある。

エ：偶然再発しなかっただけの可能性があり、実施確認が必要である。

総合解説：再発防止は対策の実施だけでなく、実際に機能しているか確認して閉じる必要がある。 この問題では、事実・原因・対策を混同せず、施工管理者として「何を確認し、何を止め、何を是正し、どう再確認するか」まで一連で判断することが重要である。

対象：2026年度 / 法令・制度基準日 2026-08-21

0084 安全事例 > 再発防止 ｜ 難易度：標準

事故対策として新しい工具・工法を導入する際の再発防止管理として適切なものはどれか。

ア. 事故対策のための変更なら新たなリスク評価は不要とする。

イ. 工具を購入した時点で対策完了とする。

ウ. 新工法の手順は各作業員が経験で決める。

エ. 新しい危険源や品質影響を再評価し、手順・教育・点検方法を更新してから導入する。

答え・解説 **正答：エ**

ア：善意の対策でも副作用があり得る。

イ：設備導入だけで適切な使用方法が保証されない。

ウ：標準手順と教育が必要である。

エ：対策変更自体が別のリスクを生む可能性があるため、変更後のリスクを評価する。

総合解説：対策変更自体が別のリスクを生む可能性があるため、変更後のリスクを評価する。 この問題では、事実・原因・対策を混同せず、施工管理者として「何を確認し、何を止め、何を是正し、どう再確認するか」まで一連で判断することが重要である。

対象：2026年度 / 法令・制度基準日 2026-08-21

© 2026 資格ブートキャンプ｜個人学習用。法令上認められる場合を除き、無断転載・再配布・販売・第三者への配布・教材等への無断利用を禁止します。利用規約：https://shikaku-bootcamp.com/terms/

0085 安全事例 > 現場是正指示 ｜ 難易度：基礎

作業員が停電待ちを避けるため無断で活線近接作業を始めようとしている。現場責任者の是正指示として最も適切なものはどれか。

ア. 直ちに作業を中止し、計画した停電・隔離条件と作業手順を再確認して、安全条件が整うまで再開させない。

イ. 経験者だけ残して作業を継続させる。

ウ. 予定より遅れているので短時間だけ認める。

エ. 絶縁手袋を追加すれば計画変更なしで継続させる。

答え・解説 **正答：ア**

ア：安全条件を外れた作業は停止し、計画・リスク評価に戻して是正するのが基本である。

イ：経験で危険源はなくならない。

ウ：工程都合は危険な作業継続の理由にならない。

エ：保護具追加だけで停電・隔離という上位対策を代替しない。

総合解説：安全条件を外れた作業は停止し、計画・リスク評価に戻して是正するのが基本である。 この問題では、事実・原因・対策を混同せず、施工管理者として「何を確認し、何を止め、何を是正し、どう再確認するか」まで一連で判断することが重要である。

対象：2026年度 / 法令・制度基準日 2026-08-21

0086 安全事例 > 現場是正指示 ｜ 難易度：標準

避難通路にケーブルドラムが仮置きされている。是正指示として適切なものはどれか。

ア. 端に寄せれば通路上に置いたままでよい。

イ. 直ちに安全な保管場所へ移動し、搬入・保管ルールと通路確保を関係者へ再周知する。

ウ. 夜間だけなら避難通路を資材置場にしてよい。

エ. 注意テープを貼れば移動しなくてよい。

答え・解説 **正答：イ**

ア：通路幅や避難機能を阻害するおそれがある。

イ：避難・作業通路は常時確保し、資材保管計画を是正する必要がある。

ウ：時間帯だけで避難経路の必要性がなくなるわけではない。

エ：表示は物理的障害を解消しない。

総合解説：避難・作業通路は常時確保し、資材保管計画を是正する必要がある。 この問題では、事実・原因・対策を混同せず、施工管理者として「何を確認し、何を止め、何を是正し、どう再確認するか」まで一連で判断することが重要である。

対象：2026年度 / 法令・制度基準日 2026-08-21

© 2026 資格ブートキャンプ｜個人学習用。法令上認められる場合を除き、無断転載・再配布・販売・第三者への配布・教材等への無断利用を禁止します。利用規約：https://shikaku-bootcamp.com/terms/

0087 安全事例 > 現場是正指示 ｜ 難易度：基礎

作業床の手すりの一部が外されたまま高所作業を続けている。是正指示として最も適切なものはどれか。

ア. 注意して作業するよう指示して継続させる。

イ. 熟練者だけ作業を続けさせる。

ウ. 当該区域の作業を停止し、手すり等の墜落防止設備を復旧・確認してから再開する。

エ. 作業者がフルハーネスを持っていれば手すりを復旧しなくてよい。

答え・解説 **正答：ウ**

ア：注意喚起だけでは墜落防止設備の欠落を補えない。

イ：熟練度で墜落防護を省略できない。

ウ：不備のある作業床はまず安全設備を正常化し、確認後に再開する。

エ：個人用保護具と集団的防護設備は適切に組み合わせる必要がある。

総合解説：不備のある作業床はまず安全設備を正常化し、確認後に再開する。 この問題では、事実・原因・対策を混同せず、施工管理者として「何を確認し、何を止め、何を是正し、どう再確認するか」まで一連で判断することが重要である。

対象：2026年度 / 法令・制度基準日 2026-08-21

0088 安全事例 > 現場是正指示 ｜ 難易度：標準

天井閉鎖予定だが、隠ぺい部の施工確認と写真が未完了である。是正指示として適切なものはどれか。

ア. 工程優先で閉鎖し、後日点検口から確認する。

イ. 作業員の口頭報告があれば写真を省略する。

ウ. 完成後の絶縁試験で代替する。

エ. 天井閉鎖を保留し、対象範囲の施工確認・必要記録を完了してから閉鎖を許可する。

答え・解説 **正答：エ**

ア：閉鎖後では確認可能範囲が限定される。

イ：客観的な品質記録を口頭だけで代替できない。

ウ：電気的試験だけでは施工状態すべてを確認できない。

エ：後日確認困難となる工程は、隠ぺい前に必要な品質確認を完了させる。

総合解説：後日確認困難となる工程は、隠ぺい前に必要な品質確認を完了させる。 この問題では、事実・原因・対策を混同せず、施工管理者として「何を確認し、何を止め、何を是正し、どう再確認するか」まで一連で判断することが重要である。

対象：2026年度 / 法令・制度基準日 2026-08-21

© 2026 資格ブートキャンプ｜個人学習用。法令上認められる場合を除き、無断転載・再配布・販売・第三者への配布・教材等への無断利用を禁止します。利用規約：https://shikaku-bootcamp.com/terms/

0089 安全事例 > 現場是正指示 ｜ 難易度：応用

搬入検査で仕様不適合となった機材が現場内に残され、使用されそうになっている。是正指示として適切なものはどれか。

ア. 使用禁止を明確にし、適合品と混在しないよう隔離し、必要な手続に従って現場外へ搬出する。

イ. 目印を付けずに倉庫の奥へ置けばよい。

ウ. 納期が厳しければ仮使用し、後で交換する。

エ. 現場代理人の口頭許可だけで使用する。

答え・解説 **正答：ア**

ア：不合格機材は誤使用を防ぎ、標準仕様に従い現場外へ搬出するのが基本である。

イ：識別・隔離しないと誤使用のリスクが残る。

ウ：不適合品の仮使用は品質保証を損なう。

エ：設計適合性の確認手続きを省略できない。

総合解説：不合格機材は誤使用を防ぎ、標準仕様に従い現場外へ搬出するのが基本である。この問題では、事実・原因・対策を混同せず、施工管理者として「何を確認し、何を止め、何を是正し、どう再確認するか」まで一連で判断することが重要である。

対象：2026年度 / 法令・制度基準日 2026-08-21

0090 安全事例 > 現場是正指示 ｜ 難易度：標準

揚重作業中に別作業班が立入禁止区域へ入っている。是正指示として最も適切なものはどれか。

ア. 吊荷を停止位置で保持したまま、その下を急いで通過させる。

イ. 揚重を停止し、区域外へ退避させ、バリケード・監視・作業調整を確認してから再開する。

ウ. ヘルメット着用者なら通行を認める。

エ. 合図者が見ていれば立入を許可する。

答え・解説 **正答：イ**

ア：吊荷下通過は重大な危険である。

イ：立入禁止が守られない状態では作業を止め、物理的・管理的な区域管理を是正する必要がある。

ウ：保護帽は吊荷落下の根本対策ではない。

エ：監視だけで危険区域への立入を正当化できない。

総合解説：立入禁止が守られない状態では作業を止め、物理的・管理的な区域管理を是正する必要がある。 この問題では、事実・原因・対策を混同せず、施工管理者として「何を確認し、何を止め、何を是正し、どう再確認するか」まで一連で判断することが重要である。

対象：2026年度 / 法令・制度基準日 2026-08-21

© 2026 資格ブートキャンプ｜個人学習用。法令上認められる場合を除き、無断転載・再配布・販売・第三者への配布・教材等への無断利用を禁止します。利用規約：https://shikaku-bootcamp.com/terms/

0091 安全事例 > 現場是正指示 ｜ 難易度：基礎

検査記録の数値を規格内に見せるため書き換えた疑いがある。是正指示として最も適切なものはどれか。

ア. 書き換え後の値が規格内なら問題なしとする。

イ. 担当者に口頭注意し、記録はそのまま使用する。

ウ. 当該記録の使用を止め、原記録・測定条件を確認して必要な再測定を行い、事実関係と是正内容を正式に記録する。

エ. 問題が広がらないよう関係記録を廃棄する。

答え・解説 **正答：ウ**

ア：適合値でも根拠が不正なら品質を証明できない。

イ：口頭注意だけでは不正確な記録が残る。

ウ：品質記録の信頼性が損なわれた場合は、客観的再確認と適切な記録管理が必要である。

エ：記録廃棄は追跡性をさらに損なう。

総合解説：品質記録の信頼性が損なわれた場合は、客観的再確認と適切な記録管理が必要である。 この問題では、事実・原因・対策を混同せず、施工管理者として「何を確認し、何を止め、何を是正し、どう再確認するか」まで一連で判断することが重要である。

対象：2026年度 / 法令・制度基準日 2026-08-21

0092 安全事例 > 現場是正指示 ｜ 難易度：標準

現場納まりを理由に施工図と異なるケーブルラック経路へ無承認で変更している。是正指示として最も適切なものはどれか。

ア. 納まりが良ければ完成図だけ直して施工を続ける。

イ. 現場担当者同士の口頭合意だけで変更を確定する。

ウ. 変更箇所を写真に撮れば承認手続は不要とする。

エ. 施工を停止し、変更理由・他設備干渉・性能への影響を整理し、施工図等の承諾手続きを経てから再開する。

答え・解説 **正答：エ**

ア：無承認変更は設計意図・保守性・関連設備との整合を損なう。

イ：口頭合意だけでは正式な変更管理にならない。

ウ：写真は記録であって承認の代替ではない。

エ：設計・施工図からの変更は影響を評価し、必要な報告・協議・承諾を経て管理する。

総合解説：設計・施工図からの変更は影響を評価し、必要な報告・協議・承諾を経て管理する。 この問題では、事実・原因・対策を混同せず、施工管理者として「何を確認し、何を止め、何を是正し、どう再確認するか」まで一連で判断することが重要である。

対象：2026年度 / 法令・制度基準日 2026-08-21

© 2026 資格ブートキャンプ｜個人学習用。法令上認められる場合を除き、無断転載・再配布・販売・第三者への配布・教材等への無断利用を禁止します。利用規約：https://shikaku-bootcamp.com/terms/

0093 法規事例 > 技術者配置 ｜ 難易度：標準

公共性のある施設の電気設備工事を請負金額6,000万円で施工する。主任技術者又は監理技術者の配置として、原則最も適切なものはどれか。

ア. 工事現場ごとに専任の者を配置する。

イ. 請負金額が1億円未満なので無条件で兼任できる。

ウ. 電気工事は専任規定の対象外である。

エ. 元請であれば技術者を配置しなくてよい。

答え・解説 **正答：ア**

ア：公共性のある重要な建設工事で請負金額4,500万円以上（建築一式は9,000万円以上）は、原則として専任が必要である。

イ：1億円未満は一定要件を満たす兼任制度の上限側の条件であり、無条件の兼任を認める基準ではない。

ウ：電気工事も建設業法上の技術者配置・専任規定の対象となる。

エ：元請・下請を問わず、許可業者が施工する工事では法令に応じた技術者配置が必要である。

総合解説：専任要否は工事の公共性と請負金額で判断し、兼任制度を使う場合は別途すべての要件を確認する。

対象：2026年度 / 法令・制度基準日 2026-08-21

0094 法規事例 > 技術者配置 ｜ 難易度：基礎

発注者から直接請け負った電気工事で、元請が下請契約を合計6,000万円締結する予定である。技術者配置として適切なのはどれか。

ア. 下請総額に関係なく主任技術者でよい。

イ. 元請は監理技術者の配置が必要となる。

ウ. 監理技術者は建築一式工事にだけ必要である。

エ. 下請業者側に主任技術者がいれば元請の技術者は不要である。

答え・解説 **正答：イ**

ア：下請総額が基準を超える場合は主任技術者ではなく監理技術者が必要となる。

イ：電気工事を含む指定建設業では、元請が一定額以上を下請に出す場合、特定建設業の許可と監理技術者の配置が必要となる。現行の一般工事の下請総額基準は5,000万円である。

ウ：監理技術者制度は建築一式工事だけに限定されない。

エ：元請自身にも法令上の技術者配置義務があり、下請側の配置で代替できない。

総合解説：元請では請負金額だけでなく、下請に出す総額を確認して主任技術者か監理技術者かを決める。

対象：2026年度 / 法令・制度基準日 2026-08-21

© 2026 資格ブートキャンプ｜個人学習用。法令上認められる場合を除き、無断転載・再配布・販売・第三者への配布・教材等への無断利用を禁止します。利用規約：https://shikaku-bootcamp.com/terms/

0095 法規事例 > 技術者配置 ｜ 難易度：標準

専任が原則必要な2つの電気工事現場を同一の監理技術者に兼任させたい。新しい兼任制度を適用する際の確認として不適切なものはどれか。

ア. 2現場の請負金額が各1億円未満か確認する。

イ. 2現場間を1日で巡回でき、移動時間が概ね2時間以内か確認する。

ウ. 工事現場が3か所でも、同一都道府県内なら兼任できると判断する。

エ. 下請次数が3次までか確認する。

答え・解説 **正答：ウ**

ア：一般の建設工事では請負金額1億円未満（建築一式は2億円未満）が兼任制度の要件の一つである。

イ：現場間の距離は1日で巡回可能で、移動時間が概ね2時間以内であることが要件の一つである。

ウ：兼任できる工事現場は2現場以下であり、同一都道府県というだけで3現場兼任にはできない。

エ：下請次数3次までであることも要件に含まれる。

総合解説：兼任制度は金額、現場数、距離、下請次数、連絡員、ICT、計画書等の要件をすべて満たす必要がある。

対象：2026年度 / 法令・制度基準日 2026-08-21

0096 法規事例 > 技術者配置 ｜ 難易度：応用

工期途中で専任の監理技術者を交代させる必要が生じた。施工管理上最も適切な対応はどれか。

ア. 後任が決まるまで技術者不在のまま施工を継続する。

イ. 変更は社内人事なので発注者への説明は不要とする。

ウ. 前任者の氏名だけ施工体系図から削除し、他の記録は変更しない。

エ. 発注者等と協議し、施工の継続性・品質確保に支障がないよう引継ぎを行う。

答え・解説 **正答：エ**

ア：必要な技術者が不在の状態で施工を継続することは適切でない。

イ：発注者等との協議・了解が必要となる場面があり、単なる社内人事として処理できない。

ウ：標識や施工体制関係書類等、変更が必要な記録を整合させる必要がある。

エ：技術者交代は工事の継続性や品質確保に直結するため、契約当事者間で協議し十分な引継ぎを行う。

総合解説：技術者変更では資格だけでなく、現場情報・品質・安全・未完事項の引継ぎと関係書類の更新が重要である。

対象：2026年度 / 法令・制度基準日 2026-08-21

© 2026 資格ブートキャンプ｜個人学習用。法令上認められる場合を除き、無断転載・再配布・販売・第三者への配布・教材等への無断利用を禁止します。利用規約：https://shikaku-bootcamp.com/terms/

0097 法規事例 > 技術者配置 ｜ 難易度：基礎

営業所に常勤する営業所技術者等を、同時に遠隔地の公共性のある重要工事の専任監理技術者として配置する案が出た。原則として適切な判断はどれか。

ア. 営業所技術者等の職務と現場専任の職務の双方を満たせるか、法令上の兼務条件を確認し、安易に兼任させない。

イ. 資格が同じなら距離や勤務実態にかかわらず兼任できる。

ウ. 営業所技術者等は現場技術者より上位なので自動的に兼任できる。

エ. 専任工事であっても週1回現場に行けばよい。

答え・解説 **正答：ア**

ア： 営業所技術者等には営業所での職務があり、現場専任との兼務には厳格な条件があるため、勤務実態・距離・制度要件を確認する必要がある。

イ： 資格の同一性だけでは兼任可否は決まらない。

ウ： 役職の上下関係で自動的に兼任が認められる制度ではない。

エ： 専任は単なる定期巡回を意味せず、必要な職務を適切に遂行できる体制が必要である。

総合解説： 営業所と現場の技術者制度は目的が異なる。配置を決める際は資格・雇用・専任・兼務要件を分けて確認する。

対象：2026年度 / 法令・制度基準日 2026-08-21

0098 法規事例 > 技術者配置 ｜ 難易度：標準

公共工事で監理技術者を配置するときの資格確認として適切なのはどれか。

ア. 運転免許証があれば監理技術者資格の確認は不要である。

イ. 監理技術者資格者証と監理技術者講習の受講状況を確認する。

ウ. 施工経験年数だけを書面で申告すればよい。

エ. 下請会社の資格者証を借りて提示してもよい。

答え・解説 **正答：イ**

ア： 運転免許証は監理技術者としての資格を証明しない。

イ： 公共工事の監理技術者では、監理技術者資格者証と所定の講習受講等を確認する。

ウ： 必要資格が求められる工事では単なる自己申告で代替できない。

エ： 資格者証は本人に帰属し、他人のものを使用できない。

総合解説： 技術者配置では、資格の種類だけでなく資格者証、講習、雇用関係、配置工事との適合を確認する。

対象：2026年度 / 法令・制度基準日 2026-08-21

© 2026 資格ブートキャンプ｜個人学習用。法令上認められる場合を除き、無断転載・再配布・販売・第三者への配布・教材等への無断利用を禁止します。利用規約：https://shikaku-bootcamp.com/terms/

0099 法規事例 > 技術者配置 ｜ 難易度：基礎

元請会社が、現場の監理技術者として他社の技術者を工事期間だけ名義上配置する案を検討している。適切な判断はどれか。

ア. 資格さえあれば雇用関係は不要である。

イ. 工事期間中だけ請負契約を結べば必ず認められる。

ウ. 直接的かつ恒常的な雇用関係等の要件を満たさない名義上の配置は認められない。

エ. 発注者が口頭で了解すれば法令上の要件を満たす。

答え・解説 **正答：ウ**

ア：資格保有だけで所属関係の要件はなくならない。

イ：契約名目を変えるだけで実態要件を満たすことにはならない。

ウ：監理技術者等は所属建設業者との適切な雇用関係が必要で、名義借りのような配置は認められない。

エ：発注者の口頭了解で法令上の配置要件を免除することはできない。

総合解説：技術者制度は実際に施工の技術上の管理を担う者を配置する制度であり、名義だけの配置は制度趣旨に反する。

対象：2026年度 / 法令・制度基準日 2026-08-21

0100 法規事例 > 技術者配置 ｜ 難易度：標準

元請A社の監理技術者が配置されている現場で、下請B社が許可を受けた電気工事を施工する。B社の対応として適切なのはどれか。

ア. 元請に監理技術者がいるのでB社は技術者を配置しない。

イ. B社は作業員の中から無資格者を責任者に指名すればよい。

ウ. 施工体制台帳に会社名を記載すれば技術者配置は不要になる。

エ. B社も自社が施工する工事について主任技術者等を適切に配置する。

答え・解説 **正答：エ**

ア：元請の監理技術者は下請会社の法的な配置義務を代替しない。

イ：必要資格・要件を満たす技術者でなければならない。

ウ：施工体制台帳への記載と技術者配置義務は別の制度である。

エ：下請業者も自ら請け負った建設工事について法令に応じた主任技術者等を配置する。

総合解説：元請と下請の技術者はそれぞれの立場で施工の技術上の管理を行い、元請は施工体制全体も把握する。

対象：2026年度 / 法令・制度基準日 2026-08-21

© 2026 資格ブートキャンプ｜個人学習用。法令上認められる場合を除き、無断転載・再配布・販売・第三者への配布・教材等への無断利用を禁止します。利用規約：https://shikaku-bootcamp.com/terms/

0101 法規事例 > 技術者配置 ｜ 難易度：応用

工期途中で、専任監理技術者を新制度により2現場兼任へ変更したい。最初に行うべき対応として最も適切なのはどれか。

ア. 兼任要件を全て確認し、発注者と協議して施工・品質に支障がない体制を確保する。

イ. 監理技術者本人の同意だけで即日兼任に変更する。

ウ. 請負金額が1億円未満なら他の要件を確認せず兼任とする。

エ. 標識の専任表示は工事完成まで修正しない。

答え・解説 **正答：ア**

ア：途中変更でも法定の兼任要件を全て確認し、発注者との協議や施工継続性の確保が必要である。

イ：本人同意だけでは制度要件を満たさない。

ウ：金額は複数要件の一つにすぎない。

エ：専任の有無が変わった場合は現場標識等も速やかに整合させる必要がある。

総合解説：専任合理化は自動適用ではない。現場数、距離、下請次数、連絡体制、ICT、計画書等を一体で確認する。

対象：2026年度 / 法令・制度基準日 2026-08-21

0102 法規事例 > 技術者配置 ｜ 難易度：標準

新規電気工事の主任技術者・監理技術者の配置を検討する。最も先に整理すべき情報の組合せはどれか。

ア. 現場事務所の面積、駐車台数、昼食時間だけ。

イ. 元請・下請の立場、請負金額、下請総額、工事の公共性、工事業種、候補者の資格・雇用関係。

ウ. 候補者の年齢と通勤方法だけ。

エ. 工事写真の撮影枚数だけ。

答え・解説 **正答：イ**

ア：これらは現場運営には関係しても、法定技術者配置の主要判定情報ではない。

イ：技術者の種類・専任要否は、契約関係、金額、公共性、業種、資格・雇用等から体系的に判定する。

ウ：年齢や通勤方法だけでは法定要件を判断できない。

エ：写真枚数は技術者配置要件とは直接関係しない。

総合解説：配置判定は一つの金額だけで決めず、契約・業種・工事性質・候補者要件を同時に整理する。

対象：2026年度 / 法令・制度基準日 2026-08-21

© 2026 資格ブートキャンプ｜個人学習用。法令上認められる場合を除き、無断転載・再配布・販売・第三者への配布・教材等への無断利用を禁止します。利用規約：https://shikaku-bootcamp.com/terms/

0103 法規事例 > 施工体制 ｜ 難易度：基礎

民間の電気工事で、発注者から直接請け負った元請が合計5,500万円を下請に出す。施工体制台帳について適切なのはどれか。

ア. 民間工事では施工体制台帳は一切不要である。

イ. 下請が3社未満なら作成不要である。

ウ. 元請は施工体制台帳を作成する。

エ. 工期が30日未満なら作成不要である。

答え・解説 **正答：ウ**

ア： 公共工事だけに限定された制度ではない。

イ： 下請会社数ではなく、法令で定める条件により判断する。

ウ： 民間工事でも、元請が一定額以上を下請に出す場合は施工体制台帳の作成が必要である。現行の一般工事の基準は5,000万円以上である。

エ： 工期の長短だけを理由に作成義務はなくならない。

総合解説： 施工体制台帳の要否は工事区分と下請契約額等で判定し、作成対象となったら再下請負通知まで含めて体制を管理する。

対象：2026年度 / 法令・制度基準日 2026-08-21

0104 法規事例 > 施工体制 ｜ 難易度：標準

公共工事を元請として施工し、一部を下請に出す場合の施工体制台帳について適切なのはどれか。

ア. 下請総額が5,000万円未満なら公共工事でも必ず不要である。

イ. 施工体制台帳は下請業者だけが作成する。

ウ. 施工体系図を作れば施工体制台帳は不要である。

エ. 公共工事では、下請契約を締結した場合、金額にかかわらず作成対象となる。

答え・解説 **正答：エ**

ア： 民間工事の金額基準をそのまま公共工事に適用する判断は誤りである。

イ： 作成建設業者である元請が施工体制台帳を作成する。

ウ： 施工体制台帳と施工体系図は役割が異なり、一方で他方を代替しない。

エ： 公共工事では、元請が下請契約を締結した場合、金額にかかわらず施工体制台帳の作成が求められる。

総合解説： 公共工事では施工体制の透明性確保が特に重視され、台帳と体系図を用いて下請関係や技術者配置を把握する。

対象：2026年度 / 法令・制度基準日 2026-08-21

© 2026 資格ブートキャンプ｜個人学習用。法令上認められる場合を除き、無断転載・再配布・販売・第三者への配布・教材等への無断利用を禁止します。利用規約：https://shikaku-bootcamp.com/terms/

0105 法規事例 > 施工体制 ｜ 難易度：応用

施工体制台帳作成工事で、一次下請B社がさらにC社へ工事を再下請する。B社の対応として適切なのはどれか。

ア. 遅滞なく再下請負通知書を作成建設業者へ提出し、必要な周知も行う。

イ. 再下請の金額が少額なら元請へ知らせなくてよい。

ウ. C社が許可業者なら通知は不要である。

エ. 工事完成後にまとめて口頭報告すればよい。

答え・解説 **正答：ア**

ア：施工体制台帳作成工事で再下請を行う場合、所定の再下請負通知を遅滞なく提出する必要がある。

イ：通知義務を単純な少額基準だけで免除することはできない。

ウ：相手方が許可業者かどうかだけで通知の要否は決まらない。

エ：施工体制を施工中に把握する制度なので、完成後の口頭報告では目的を満たさない。

総合解説：再下請負通知は元請が施工体制をリアルタイムに把握するための重要資料である。

対象：2026年度 / 法令・制度基準日 2026-08-21

0106 法規事例 > 施工体制 ｜ 難易度：基礎

元請が施工体系図を作成した後、下請業者の追加や担当工事の変更が生じた。施工体系図の管理として最も適切なものはどれか。

ア. 当初版を残し、変更内容は口頭周知だけで済ませる。

イ. 変更内容を反映して施工体系図を更新し、現場の最新の施工体制が分かる状態にする。

ウ. 施工体系図を廃止し、工事写真だけで施工体制を管理する。

エ. 元請会社の組織図に置き換え、下請関係の表示を省略する。

答え・解説 **正答：イ**

ア：施工体系図は実際の施工体制を示す資料であるため、変更後も当初版のままでは現場管理資料として不十分である。

イ：下請業者や担当工事に変更があれば、その内容を反映して最新の施工体制が確認できる状態に保つことが適切である。

ウ：工事写真は施工状況の記録であり、施工体系図の代替資料ではない。

エ：施工体系図は元請だけでなく下請関係を含む施工体制を示すものであり、下請関係を省略しては目的を満たさない。

総合解説：施工体系図は現場の施工体制を関係者が把握するための資料である。下請関係や担当工事に変更が生じた場合は、実態と資料を一致させるよう更新して管理する。

対象：2026年度 / 法令・制度基準日 2026-08-21

© 2026 資格ブートキャンプ｜個人学習用。法令上認められる場合を除き、無断転載・再配布・販売・第三者への配布・教材等への無断利用を禁止します。利用規約：https://shikaku-bootcamp.com/terms/

0107 法規事例 > 施工体制 ｜ 難易度：標準

施工中に新たな二次下請会社が追加された。元請の施工体制管理として最も適切なのはどれか。

ア. 完成時まで既存の台帳を変更しない。

イ. 現場代理人の個人メモだけに追記する。

ウ. 再下請負通知等を受け、施工体制台帳・施工体系図を速やかに更新して実態と一致させる。

エ. 会社名だけを施工体系図に追加し、技術者等の情報は確認しない。

答え・解説 **正答：ウ**

ア：完成まで放置すると施工中の体制把握ができない。

イ：個人メモは正式な施工体制管理の代替にならない。

ウ：施工体制関係書類は現場の実態を反映する必要があり、変更時は必要情報を確認して更新する。

エ：施工体制の把握には担当工事や技術者など必要項目の確認が必要である。

総合解説：施工体制は固定情報ではない。追加・変更・撤退があれば台帳、体系図、作業員情報等を整合させる。

対象：2026年度 / 法令・制度基準日 2026-08-21

0108 法規事例 > 施工体制 ｜ 難易度：基礎

施工体制台帳に添付する作業員名簿を現場管理に活用する方法として適切なのはどれか。

ア. 作業員の氏名だけ記録し、所属や資格は確認しない。

イ. 名簿は元請の内部資料なので下請変更があっても更新しない。

ウ. 名簿に記載されていれば就業制限業務を誰でも行える。

エ. 入場者、所属、資格・教育等を必要に応じて確認し、実際の作業体制との整合を取る。

答え・解説 **正答：エ**

ア：氏名だけでは必要な体制確認が不十分となる。

イ：変更があれば実態に合わせて更新する必要がある。

ウ：名簿記載は資格や技能講習を代替しない。

エ：作業員名簿は現場入場者や所属、資格等の確認に活用し、施工体制・安全管理の実態把握につなげる。

総合解説：施工体制管理では会社単位の関係図だけでなく、現場で実際に作業する人員の資格・役割も確認する。

対象：2026年度 / 法令・制度基準日 2026-08-21

© 2026 資格ブートキャンプ｜個人学習用。法令上認められる場合を除き、無断転載・再配布・販売・第三者への配布・教材等への無断利用を禁止します。利用規約：https://shikaku-bootcamp.com/terms/

0109 法規事例 > 施工体制 ｜ 難易度：標準

元請が施工体制台帳作成工事に該当した場合の周知として適切なのはどれか。

ア. 下請業者に再下請負通知が必要な旨と提出先等を周知する。

イ. 再下請負通知の制度は元請社内だけに知らせればよい。

ウ. 下請への周知は工事完成後に行う。

エ. 再下請負通知の提出先を明らかにしない。

答え・解説 **正答：ア**

ア：作成建設業者は下請に再下請負通知が必要である旨と提出先等を周知する必要がある。

イ：制度は施工体制全体を把握するためのもので、社内だけの周知では足りない。

ウ：施工中に体制を把握する必要があり、完成後では遅い。

エ：提出先を明示して適切に通知できる状態を作る必要がある。

総合解説：施工体制台帳作成工事では、元請が下請に通知制度を確実に伝え、再下請情報を集約する。

対象：2026年度 / 法令・制度基準日 2026-08-21

0110 法規事例 > 施工体制 ｜ 難易度：応用

元請が受注した電気工事について、施工計画・工程・品質・安全の実質的な管理を行わず、工事の全部を一社の下請に任せる案が出た。最も適切な判断はどれか。

ア. 契約書に元請名があれば実質的な関与は不要である。

イ. 実質的な一括下請負に該当するおそれがあり、元請として実質的に施工へ関与する体制が必要である。

ウ. 下請が優良企業なら常に一括下請負が認められる。

エ. 監理技術者の名前だけ掲示すれば実質的関与がなくてもよい。

答え・解説 **正答：イ**

ア：名義だけの元請では制度趣旨を満たさない。

イ：元請は施工計画、工程、品質、安全等について実質的に関与する必要があり、丸投げは一括下請負の問題となる。

ウ：下請の能力の高さだけで禁止の適用がなくなるわけではない。

エ：技術者の名義掲示だけでは実質的な施工管理とはいえない。

総合解説：施工体制の適正化では契約形式ではなく、元請が施工管理に実質的に関与しているかが重要である。

対象：2026年度 / 法令・制度基準日 2026-08-21

© 2026 資格ブートキャンプ｜個人学習用。法令上認められる場合を除き、無断転載・再配布・販売・第三者への配布・教材等への無断利用を禁止します。利用規約：https://shikaku-bootcamp.com/terms/

0111 法規事例 > 施工体制 ｜ 難易度：標準

工程逼迫を理由に新規下請会社へ電気工事を発注する。契約前後の管理として最も適切なのはどれか。

ア. 工期が厳しい場合は会社名だけ確認して即日作業させる。

イ. 施工体制台帳は完成後の実績整理なので契約時には確認しない。

ウ. 許可・担当範囲・技術者・再下請予定等を確認し、契約内容と施工体制台帳等を一致させる。

エ. 再下請予定は下請会社の内部事項として元請は確認しない。

答え・解説 **正答：ウ**

ア：工程上の緊急性は適正な施工体制確認を省略する理由にならない。

イ：施工体制台帳は施工中の適正な体制把握に用いる。

ウ：下請契約と実際の施工体制を一致させるため、許可・担当範囲・技術者・再下請等を確認する。

エ：再下請は元請が施工体制を把握するうえで重要な情報である。

総合解説：下請追加は工程対策であると同時に法令・品質・安全上の変更でもある。契約と現場実態を同時に管理する。

対象：2026年度 / 法令・制度基準日 2026-08-21

0112 法規事例 > 手続・届出 ｜ 難易度：基礎

道路区域内に仮設ケーブル保護設備を継続して設け、施工中に車線の一部を使用して作業する。手続の整理として適切なのはどれか。

ア. 道路占用も道路使用も消防署長の許可だけでよい。

イ. 道路管理者の占用許可があれば道路使用許可は常に不要である。

ウ. 警察署長の道路使用許可があれば恒久的な占用も無条件で可能である。

エ. 道路占用は道路管理者、道路使用は所轄警察署長への許可をそれぞれ検討する。

答え・解説 **正答：エ**

ア：消防署長はこれらの許可主体ではない。

イ：占用許可と使用許可は別制度で、片方が他方を常に代替するものではない。

ウ：道路使用許可だけで道路法上の継続的占用が当然に認められるわけではない。

エ：道路法上の占用と道路交通法上の道路使用は目的・許可主体が異なり、工事内容により双方が必要になる。

総合解説：道路工事では「物件を継続して置く占用」と「交通に影響する作業としての使用」を分けて手続を確認する。

対象：2026年度 / 法令・制度基準日 2026-08-21

© 2026 資格ブートキャンプ｜個人学習用。法令上認められる場合を除き、無断転載・再配布・販売・第三者への配布・教材等への無断利用を禁止します。利用規約：https://shikaku-bootcamp.com/terms/

0113 法規事例 > 手続・届出 ｜ 難易度：標準

消防法令上の着工届が必要な自動火災報知設備の工事を行う。原則的な提出時期として適切なのはどれか。

ア. 工事に着手する日の10日前までに届け出る。

イ. 工事完成後4日以内だけ届け出ればよい。

ウ. 工事開始後30日以内でよい。

エ. 届出は一切不要である。

答え・解説 **正答：ア**

ア： 消防用設備等の着工届は、対象工事について工事着手日の10日前までに所轄消防長等へ提出する制度である。

イ： 完成後4日以内は設置届に関係する期限であり、着工届の期限とは異なる。

ウ： 工事開始後では事前審査の趣旨を満たさない。

エ： 対象設備・工事では所定の届出が必要である。

総合解説： 消防設備工事では着工前の届出と完成後の届出を混同しないことが重要である。

対象：2026年度 / 法令・制度基準日 2026-08-21

0114 法規事例 > 手続・届出 ｜ 難易度：応用

消防用設備等の設置工事が完了した。設置届の提出時期として適切なのはどれか。

ア. 着工日の10日前に設置届だけを提出する。

イ. 設置した日から4日以内に届け出る。

ウ. 完成から1年以内ならよい。

エ. 消防設備士が工事した場合は設置届不要である。

答え・解説 **正答：イ**

ア： 10日前は着工届の期限であり、設置届とは異なる。

イ： 設置届は消防用設備等を設置した日から4日以内に提出する。

ウ： 1年後では法定手続として遅すぎる。

エ： 有資格者が工事しても必要な設置届が免除されるわけではない。

総合解説： 消防設備では「着工前10日前」と「設置後4日以内」を区別して覚える。

対象：2026年度 / 法令・制度基準日 2026-08-21

© 2026 資格ブートキャンプ｜個人学習用。法令上認められる場合を除き、無断転載・再配布・販売・第三者への配布・教材等への無断利用を禁止します。利用規約：https://shikaku-bootcamp.com/terms/

0115 法規事例 > 手続・届出 ｜ 難易度：基礎

承認済み施工計画について、停電範囲と切替手順を大幅に変更する必要が生じた。現場対応として最も適切なのはどれか。

ア. 現場代理人の判断だけで変更し、完成後にまとめて説明する。

イ. 工程短縮になる変更なら記録を残さない。

ウ. 変更内容の影響を整理し、監督職員・発注者等との協議や必要な承認手続きを行ってから実施する。

エ. 変更したことを施工図にも記録にも反映しない。

答え・解説 **正答：ウ**

ア：重要変更を一方的に実施するのは適切でない。

イ：工程短縮の有無にかかわらず必要な管理手続は省略できない。

ウ：重要な施工条件・手順の変更は品質・安全・施設運用へ影響するため、所定の協議・承認と記録更新が必要である。

エ：変更内容は関連図書・記録と整合させる必要がある。

総合解説：手続管理では「変更を止める」のではなく、影響評価、協議・承認、図書更新、関係者周知まで一連で行う。

対象：2026年度 / 法令・制度基準日 2026-08-21

0116 法規事例 > 手続・届出 ｜ 難易度：標準

施工体制台帳作成工事で、二次下請会社が追加された。元請がまず確認すべき手続として適切なのはどれか。

ア. 現場入場が終わるまで書類更新を待つ。

イ. 契約金額が小さければ会社追加を記録しない。

ウ. 作業員名簿だけ更新すれば他の施工体制書類は不要である。

エ. 再下請負通知を受け、施工体制台帳・施工体系図等を更新する。

答え・解説 **正答：エ**

ア：施工開始後に放置すると現場の施工体制と書類が不一致になる。

イ：少額だけを理由に施工体制の変更記録を省略できない。

ウ：必要書類は相互に役割があり、作業員名簿だけでは施工体制全体を表せない。

エ：追加された再下請関係を正式に把握し、関係書類を実態と一致させる必要がある。

総合解説：施工体制の変更は、通知受領→内容確認→台帳等更新→現場周知の流れで管理する。

対象：2026年度 / 法令・制度基準日 2026-08-21

© 2026 資格ブートキャンプ｜個人学習用。法令上認められる場合を除き、無断転載・再配布・販売・第三者への配布・教材等への無断利用を禁止します。利用規約：https://shikaku-bootcamp.com/terms/

0117 法規事例 > 手続・届出 ｜ 難易度：基礎

監理技術者の配置を、制度要件を満たしたうえで専任から2現場兼任へ変更した。現場標識の扱いとして適切なのはどれか。

ア. 専任の有無など表示内容を実態に合わせて速やかに修正する。

イ. 当初の標識を工事完成までそのままにする。

ウ. 標識は会社名だけ合っていれば技術者情報は不要である。

エ. 標識を撤去して口頭説明だけに切り替える。

答え・解説 **正答：ア**

ア：配置実態が変われば、標識の専任の有無等も速やかに整合させる必要がある。

イ：実態と異なる表示を残すのは不適切である。

ウ：建設業法に基づく標識には所定事項の表示が必要である。

エ：必要な標識を口頭説明で代替できない。

総合解説：法規手続では、承認書類だけでなく現場掲示も実態と一致していることが重要である。

対象：2026年度 / 法令・制度基準日 2026-08-21

0118 法規事例 > 手続・届出 ｜ 難易度：標準

絶縁抵抗試験・接地抵抗試験が完了した。検査・引渡しに向けた手続として適切なのはどれか。

ア. 合格した場合は測定値を残さない。

イ. 測定条件、測定値、判定、測定器等を記録し、所定の試験成績書として整理する。

ウ. 測定者の記憶だけで完成検査に対応する。

エ. 異常値があっても平均値が良ければ記録から削除する。

答え・解説 **正答：イ**

ア：合否だけでなく測定結果を残すことが品質証明になる。

イ：試験結果は追跡可能な記録として整理し、検査・引渡し時に確認できるようにする。

ウ：記憶は客観的な検査記録の代替にならない。

エ：異常値は原因・是正・再試験を含めて記録すべきで、削除してはならない。

総合解説：試験手続は測定実施だけで完了せず、記録、判定、不適合処置、再確認まで含む。

対象：2026年度 / 法令・制度基準日 2026-08-21

© 2026 資格ブートキャンプ｜個人学習用。法令上認められる場合を除き、無断転載・再配布・販売・第三者への配布・教材等への無断利用を禁止します。利用規約：https://shikaku-bootcamp.com/terms/

0119 法規事例 > 手続・届出 ｜ 難易度：応用

消防設備工事の着工予定日が工程短縮で7日後に前倒しされたが、着工届はまだ提出していない。最も適切な対応はどれか。

ア. 工程短縮を優先し、届出前でもそのまま着工する。

イ. 着工届を設置届に読み替えて完成後に出す。

ウ. 法定の提出期限との整合を確認し、必要なら着工日を調整して適法な手続を優先する。

エ. 元請の工程表に記載すれば消防への届出は不要になる。

答え・解説 **正答：ウ**

ア：工程上の都合で法定の事前届出を無視できない。

イ：着工届と設置届は目的・時期が異なる。

ウ：法定手続の期限を満たせない工程変更はそのまま実施せず、所轄消防機関との確認や着工日の調整等を行う。

エ：社内工程表は行政への届出を代替しない。

総合解説：施工管理者は法定手続を工程上のマイルストーンとして管理し、変更時には手続期限まで再計算する。

対象：2026年度 / 法令・制度基準日 2026-08-21

0120 法規事例 > 手続・届出 ｜ 難易度：標準

道路使用許可に「作業時間帯」「保安要員配置」「通行確保」の条件が付された。現場管理として最も適切なのはどれか。

ア. 許可証を事務所に保管するだけで現場条件は変更しない。

イ. 工程が遅れた日は許可時間外でも作業を続ける。

ウ. 条件の一部だけ守れば他は現場判断で省略できる。

エ. 許可条件を施工計画・作業指示に反映し、当日の体制と一致しているか確認する。

答え・解説 **正答：エ**

ア：書類を保管するだけでは許可条件を履行したことにならない。

イ：許可された時間帯を逸脱する場合は所定の手続・調整が必要である。

ウ：付された条件は一体として遵守する必要がある。

エ：許可条件は施工条件そのものであり、施工計画・交通誘導・作業時間管理に具体的に反映する。

総合解説：手続・届出は取得がゴールではなく、許可条件を現場運用へ落とし込むことが施工管理上の要点である。

対象：2026年度 / 法令・制度基準日 2026-08-21

© 2026 資格ブートキャンプ｜個人学習用。法令上認められる場合を除き、無断転載・再配布・販売・第三者への配布・教材等への無断利用を禁止します。利用規約：https://shikaku-bootcamp.com/terms/

0121 複合問題 > 図表読解 ｜ 難易度：基礎

次の進捗表を見て、最優先で工程対策を検討すべき作業はどれか。
A 幹線敷設：計画80%・実績80%
B 盤据付：計画70%・実績45%・後続の受電試験に直結
C 照明器具：計画60%・実績55%・余裕5日
D LAN配線：計画40%・実績42%・余裕8日

ア. B 盤据付
イ. A 幹線敷設
ウ. C 照明器具
エ. D LAN配線

答え・解説 **正答：ア**

ア： Bは計画差が大きく、後続の受電試験に直結するため、工程全体への影響が最も大きい。
イ： Aは計画どおりで、優先的な遅延対策対象ではない。
ウ： Cは遅れが小さく余裕もあるため、Bより優先度は低い。
エ： Dは計画を上回り余裕もある。

総合解説： 工程表は遅れ量だけでなく、後続作業への影響と余裕時間を合わせて読む。

対象：2026年度 / 法令・制度基準日 2026-08-21

0122 複合問題 > 図表読解 ｜ 難易度：標準

絶縁抵抗測定の社内判定基準を0.2MΩ以上としている。測定結果が、回路A=50MΩ、B=12MΩ、C=0.08MΩ、D=5MΩであった。適切な判断はどれか。

ア. 全回路の平均値が高いので全て合格とする。
イ. 回路Cを不適合として原因調査・是正後に再測定する。
ウ. 回路Aだけ再測定する。
エ. 最小値は記録せず合格値だけ提出する。

答え・解説 **正答：イ**

ア： 絶縁抵抗は回路ごとに判定し、平均値で不適合を相殺しない。
イ： Cは社内判定基準0.2MΩを下回るため不適合であり、原因除去後の再測定が必要である。
ウ： Aは十分高く、優先すべきはCである。
エ： 不適合値を隠すことは品質記録として不適切である。

総合解説： 図表読解では、判定基準と個別測定値を対応させ、不適合を平均値で見えなくしない。

対象：2026年度 / 法令・制度基準日 2026-08-21

© 2026 資格ブートキャンプ｜個人学習用。法令上認められる場合を除き、無断転載・再配布・販売・第三者への配布・教材等への無断利用を禁止します。利用規約：https://shikaku-bootcamp.com/terms/

0123 複合問題 > 図表読解 ｜ 難易度：応用

受入検査表に、①型式一致、②数量一致、③外観損傷あり、④試験成績書あり、と記録されている。最も適切な処置はどれか。

ア. 型式と数量が合うのでそのまま施工する。

イ. 試験成績書があるので外観損傷は無視する。

ウ. 損傷品を区分・保留し、使用可否を確認して是正処置を決める。

エ. 損傷記録を削除して受入合格にする。

答え・解説 **正答：ウ**

ア：型式・数量が合っていても損傷があれば無条件合格にはできない。

イ：成績書は外観損傷の影響を打ち消すものではない。

ウ：外観損傷は品質上の不適合候補であり、良品と区分して使用可否を確認する。

エ：記録の改ざんは品質管理上不適切である。

総合解説：受入検査は複数の品質特性を個別に確認し、一つの合格項目で他の不適合を相殺しない。

対象：2026年度 / 法令・制度基準日 2026-08-21

0124 複合問題 > 図表読解 ｜ 難易度：基礎

リスク評価表で、A「感電」重篤度4×可能性3=12、B「転倒」2×2=4、C「騒音」2×3=6、D「軽微な切創」1×2=2と評価した。最優先で低減策を検討するのはどれか。

ア. B 転倒

イ. C 騒音

ウ. D 軽微な切創

エ. A 感電

答え・解説 **正答：エ**

ア：Bは4でAより低い。

イ：Cは6でAより低い。

ウ：Dは2で最も低い。

エ：設定した評価方法ではAのリスク値が12で最大であり、優先的な低減対象となる。

総合解説：リスクアセスメントでは評価尺度を一貫して適用し、高リスクから本質的・工学的対策を優先する。

対象：2026年度 / 法令・制度基準日 2026-08-21

© 2026 資格ブートキャンプ｜個人学習用。法令上認められる場合を除き、無断転載・再配布・販売・第三者への配布・教材等への無断利用を禁止します。利用規約：https://shikaku-bootcamp.com/terms/

0125 複合問題 > 図表読解 ｜ 難易度：標準

移動式クレーンの作業計画表に、作業半径10mで定格荷重2.0t、吊荷1.7t、吊具0.4tとある。適切な判断はどれか。

ア. 吊荷と吊具の合計2.1tが定格荷重を超えるため、その条件では作業しない。

イ. 吊荷本体1.7tだけを見れば定格内なので作業する。

ウ. 吊具重量は定格荷重判定に含めない。

エ. 定格荷重を5%程度なら超えてもよい。

答え・解説 **正答：ア**

ア：吊上げる荷重には吊具等も考慮し、合計2.1tは定格荷重2.0tを超えるため不可である。

イ：吊荷本体だけで判定すると実際の負荷を過小評価する。

ウ：吊具もクレーンに負荷として作用する。

エ：定格荷重を任意に超過して作業することはできない。

総合解説：揚重表は作業半径に対応する定格荷重と、吊具を含む実荷重を比較して判断する。

対象：2026年度 / 法令・制度基準日 2026-08-21

0126 複合問題 > 図表読解 ｜ 難易度：基礎

三相200V回路の試運転で線間電圧が、R-S=201V、S-T=199V、T-R=4Vであった。最も適切な初動はどれか。

ア. 平均電圧が約135Vなのでそのまま運転する。

イ. 異常なT-R間について誤配線・欠相・接続不良等を疑い、運転を停止して確認する。

ウ. R-SとS-Tが正常なので全体を正常と判定する。

エ. T-Rの4Vだけ記録から除外する。

答え・解説 **正答：イ**

ア：平均値で三相回路の異常を評価するのは不適切である。

イ：一つの線間だけ著しく低いのは異常であり、欠相や誤結線等を疑って安全に確認する。

ウ：2区間正常でも1区間異常なら回路全体として問題がある。

エ：異常値の除外ではなく原因調査が必要である。

総合解説：複合問題では単一値だけでなく、相互関係から異常パターンを読み取る。

対象：2026年度 / 法令・制度基準日 2026-08-21

© 2026 資格ブートキャンプ｜個人学習用。法令上認められる場合を除き、無断転載・再配布・販売・第三者への配布・教材等への無断利用を禁止します。利用規約：https://shikaku-bootcamp.com/terms/

0127 複合問題 > 図表読解 ｜ 難易度：標準

ケーブルラック支持間隔の施工管理基準を「2.0m以下」とした。実測値がA=1.8m、B=2.0m、C=2.3m、D=1.9mである。適切な判断はどれか。

ア. Bは上限値と同じなので不適合とする。

イ. AとDは2.0m未満なので測定不要とする。

ウ. Cを不適合として支持追加等の是正を検討する。

エ. 4区間の平均が2.0mなので全て合格とする。

答え・解説 **正答：ウ**

ア：「以下」なので2.0mは基準内である。

イ：基準内であっても出来形確認・記録は必要である。

ウ：Cは管理基準2.0m以下を超えるため不適合である。

エ：個々の区間に上限があるため平均値で超過を相殺できない。

総合解説：規格値が「以下」「以上」「範囲」のどれかを正確に読み、個別測定値で判定する。

対象：2026年度 / 法令・制度基準日 2026-08-21

0128 複合問題 > 図表読解 ｜ 難易度：応用

翌日の作業計画で、盤搬入に必要4名、ケーブル引込に必要6名、安全監視1名とする。配置可能人数は合計8名で、盤搬入とケーブル引込は同時間帯を予定している。最も適切な判断はどれか。

ア. 人数が8名いるので両作業を同時に実施する。

イ. 安全監視員を作業員と兼任させれば必ず解決する。

ウ. 必要人数は目安なので一人で両作業を進める。

エ. 同時施工では必要人数が不足するため、時間帯分離や増員等で計画を見直す。

答え・解説 **正答：エ**

ア：総人数だけを見て各作業の必要人数を無視している。

イ：安全監視は作業条件により専任性等が必要で、無条件の兼任は不適切である。

ウ：必要人員を無視すると安全・品質・工程のリスクが高まる。

エ：必要人数4+6に加え安全監視の役割があり、8名では同時施工の前提を満たさないため計画変更が必要である。

総合解説：人員表は総人数ではなく、同時刻の各作業に必要な役割別人数を積み上げて読む。

対象：2026年度 / 法令・制度基準日 2026-08-21

© 2026 資格ブートキャンプ｜個人学習用。法令上認められる場合を除き、無断転載・再配布・販売・第三者への配布・教材等への無断利用を禁止します。利用規約：https://shikaku-bootcamp.com/terms/

0129 複合問題 > 図表読解 ｜ 難易度：標準

工程表に「絶縁測定→盤送電→機器単体試験→総合連動試験」とある。絶縁測定で不適合が残っている場合の適切な判断はどれか。

ア. 送電を保留し、不適合是正と再測定を完了してから次工程へ進む。

イ. 総合連動試験まで進めて最後にまとめて直す。

ウ. 送電後の方が測定しやすいので先に送電する。

エ. 不適合値を平均化して合格扱いにする。

答え・解説 **正答：ア**

ア：絶縁の不適合は送電前に解消すべき先行条件であり、是正・再測定後に次工程へ進む。

イ：後工程へ進むと設備損傷・感電等のリスクを拡大する。

ウ：送電前に確認すべき項目を逆転させるのは不適切である。

エ：個別不適合を平均値で処理できない。

総合解説：工程表は作業順序だけでなく「次工程へ進むための品質ゲート」として読む。

対象：2026年度 / 法令・制度基準日 2026-08-21

0130 複合問題 > 図表読解 ｜ 難易度：基礎

施工体制表に、元請A社：監理技術者X、一次下請B社：担当電気工事あり・主任技術者欄空欄、二次下請C社：担当配線工事あり、とある。最初に確認すべき事項はどれか。

ア. 元請に監理技術者Xがいるので下請欄は確認しない。

イ. B社・C社を含む各施工会社の必要な技術者配置と再下請関係が適正か確認する。

ウ. 会社名が記載されていれば技術者欄は空欄でもよい。

エ. 二次下請が存在すること自体が直ちに違法である。

答え・解説 **正答：イ**

ア：元請監理技術者は下請各社の配置義務を代替しない。

イ：下請業者にも自社施工分に応じた技術者配置等が必要であり、空欄のままにせず実態を確認する。

ウ：施工体制表は必要情報を実態に合わせて記載する。

エ：二次下請そのものが直ちに違法なのではなく、適正な契約・通知・体制が必要である。

総合解説：施工体制図表では「誰が何を施工し、誰が技術上の管理を担うか」を会社ごとに確認する。

対象：2026年度 / 法令・制度基準日 2026-08-21

© 2026 資格ブートキャンプ｜個人学習用。法令上認められる場合を除き、無断転載・再配布・販売・第三者への配布・教材等への無断利用を禁止します。利用規約：https://shikaku-bootcamp.com/terms/

0131 複合問題 > 図表読解 ｜ 難易度：標準

端末処理不良の件数が、対策前週12件、教育実施後8件、工具標準化後3件、チェックリスト導入後1件となった。最も適切な評価はどれか。

ア. 1件残っているので全対策は無効と判断する。

イ. 件数が減ったので以後の確認をやめる。

ウ. 対策後に継続して減少しており、効果を確認しつつ再発監視を続ける。

エ. 最初の12件だけを記録し、改善後のデータは不要とする。

答え・解説 **正答：ウ**

ア： 残存1件だけで全対策を無効とは評価できない。

イ： 改善後も管理を続けて再発や新たな原因を確認する必要がある。

ウ： 件数が段階的に減っており対策効果が示唆されるが、再発防止の定着確認は継続すべきである。

エ： 前後比較には対策後データも不可欠である。

総合解説： 品質改善では対策前後のデータを比較し、効果確認と標準化・継続監視まで行う。

対象：2026年度 / 法令・制度基準日 2026-08-21

0132 複合問題 > 図表読解 ｜ 難易度：応用

現場ダッシュボードが「工程：計画比-8日、品質：重大不適合0件・軽微2件、安全：休業災害0件だが高リスク未対策1件」と示している。最も適切な管理判断はどれか。

ア. 休業災害0件なので安全対策は不要と判断する。

イ. 工程遅延だけに集中し、高リスク未対策は後回しにする。

ウ. 重大不適合0件なので軽微不適合を記録しない。

エ. 工程回復策と高リスク対策を同時に優先し、品質も軽微不適合の是正完了を確認する。

答え・解説 **正答：エ**

ア： 災害がまだ起きていないことはリスク対策不要の根拠にならない。

イ： 安全上の高リスクを工程のために後回しにしてはならない。

ウ： 軽微でも不適合は記録し是正状況を管理する。

エ： 工程遅延と未対策の高リスクはいずれも放置できず、品質の軽微不適合も是正完了まで追跡する。

総合解説： 総合判断では一つのKPIだけでなく、工程・品質・安全の相互影響を同時に評価する。

対象：2026年度 / 法令・制度基準日 2026-08-21

© 2026 資格ブートキャンプ｜個人学習用。法令上認められる場合を除き、無断転載・再配布・販売・第三者への配布・教材等への無断利用を禁止します。利用規約：https://shikaku-bootcamp.com/terms/

0133 複合問題 > 条件整理 ｜ 難易度：基礎

条件は①病院設備は停電不可、②切替対象盤は夜間のみ停止可、③仮設電源接続後に切替可能、④切替後は機能確認が必要、である。適切な施工順序はどれか。

ア. 仮設電源準備・確認→夜間停電→切替→復電→機能確認。

イ. 夜間停電→仮設電源準備→切替→機能確認。

ウ. 切替→仮設電源接続→夜間停電→機能確認。

エ. 機能確認→停電→切替→仮設電源準備。

答え・解説 **正答：ア**

ア：停電不可設備を守るため仮設電源を先に確保し、許可時間帯に切替え、復電後に機能確認する順序が合理的である。

イ：停電後に仮設準備を始めると無停電条件を満たせない。

ウ：切替前に必要な停止・電源確保がない。

エ：機能確認は切替・復電後に行うべきである。

総合解説：条件整理では「先行条件」「禁止条件」「完了確認」を分け、施工順序へ変換する。

対象：2026年度 / 法令・制度基準日 2026-08-21

0134 複合問題 > 条件整理 ｜ 難易度：標準

道路上作業について、①道路使用許可は22時まで、②施設停電は21時開始、③作業所要2時間、④復旧確認30分必要、という条件がある。最も適切な判断はどれか。

ア. 21時に開始し、許可時間を超えても完了まで続ける。

イ. 現行条件では22時を超えるため、作業開始前に工程または許可条件を再調整する。

ウ. 復旧確認を省略して22時までに終える。

エ. 道路使用許可は目安なので時間超過してよい。

答え・解説 **正答：イ**

ア：許可時間外作業を前提にするのは不適切である。

イ：必要時間は2時間30分で23時30分までかかり、許可条件と矛盾するため事前調整が必要である。

ウ：復旧確認は品質・安全上必要な工程で、省略して整合させるべきではない。

エ：許可条件は遵守すべき施工条件である。

総合解説：複合条件では所要時間を足し上げ、法定・許可上の制約を工程表の境界条件として扱う。

対象：2026年度 / 法令・制度基準日 2026-08-21

© 2026 資格ブートキャンプ｜個人学習用。法令上認められる場合を除き、無断転載・再配布・販売・第三者への配布・教材等への無断利用を禁止します。利用規約：https://shikaku-bootcamp.com/terms/

0135 複合問題 > 条件整理 ｜ 難易度：基礎

作業員8名のうち、玉掛け有資格者2名、高所作業車有資格者1名。午前中に玉掛け作業1班と高所作業車作業1班を同時施工する。適切な配置判断はどれか。

ア. 資格者1名を両班の責任者名簿に同時記載すればよい。

イ. 無資格者でも経験があれば資格者として扱う。

ウ. 各作業に必要な資格者を重複なく配置できるか確認し、兼任で同時不在が生じないようにする。

エ. 資格者数は工程計画とは無関係である。

答え・解説 **正答：ウ**

ア：一人を同時刻に二つの作業場所へ配置することはできない。

イ：経験だけで法定資格・技能講習を代替できない。

ウ：同時施工では資格者の物理的な配置が重複しないよう、作業ごとに必要資格・役割を確認する。

エ：資格者の確保状況は同時施工可否を左右する工程条件である。

総合解説：条件整理では人数だけでなく「資格×時間帯×作業場所」を対応させる。

対象：2026年度 / 法令・制度基準日 2026-08-21

0136 複合問題 > 条件整理 ｜ 難易度：標準

条件は①天井内配線は閉塞前写真必須、②絶縁測定合格後に閉塞、③現時点で写真未撮影、④絶縁測定は合格、である。適切な判断はどれか。

ア. 絶縁測定が合格なので写真なしで閉塞する。

イ. 閉塞後に天井を再度開ければよいので記録不要とする。

ウ. 写真の代わりに口頭報告だけで閉塞する。

エ. 写真記録を完了してから閉塞する。

答え・解説 **正答：エ**

ア：品質ゲートの一部しか満たしていない。

イ：不要な再開口を前提に記録を省略するのは不適切である。

ウ：必要な客観記録を口頭報告だけで代替できない。

エ：閉塞前写真が必須条件として設定されているため、絶縁合格だけでは次工程へ進めない。

総合解説：次工程への移行条件が複数ある場合、全条件を満たしたことを確認してから進む。

対象：2026年度 / 法令・制度基準日 2026-08-21

© 2026 資格ブートキャンプ｜個人学習用。法令上認められる場合を除き、無断転載・再配布・販売・第三者への配布・教材等への無断利用を禁止します。利用規約：https://shikaku-bootcamp.com/terms/

0137 複合問題 > 条件整理 ｜ 難易度：応用

受変電盤の納期は45日、据付予定は50日後、搬入前検査に3日、現場搬入調整に2日必要である。適切な判断はどれか。

ア. 余裕がほぼないため、製作進捗・検査・搬入条件を直ちに確認して遅延リスクを管理する。

イ. 据付まで50日あるので納期45日なら十分として何もしない。

ウ. 搬入前検査3日は納期計算に含めない。

エ. 搬入調整2日は工事開始後に考える。

答え・解説 **正答：ア**

ア：45+3+2=50日で余裕がなく、一つの遅れが据付へ直結するため前倒し管理が必要である。

イ：表面上の納期差5日が検査・搬入調整で消える。

ウ：検査も実工程の一部として考慮する。

エ：搬入調整も先行条件として計画に入れる。

総合解説：長納期品は製作・検査・輸送・搬入・据付の全リードタイムを積み上げて管理する。

対象：2026年度 / 法令・制度基準日 2026-08-21

0138 複合問題 > 条件整理 ｜ 難易度：標準

屋外高所作業について、①強風警報が出ている、②工程遅延5日、③翌日は天候回復予報、④作業床の養生は完了、である。適切な判断はどれか。

ア. 養生が完了しているので強風でも作業する。

イ. 工程遅延より安全条件を優先し、作業を中止して翌日の再開条件を整える。

ウ. 遅延5日なので警報中でも作業する。

エ. 経験者だけなら警報を無視して作業できる。

答え・解説 **正答：イ**

ア：養生だけで強風による墜落・飛来リスクを除去できない。

イ：悪天候で危険が高い場合は工程遅延があっても安全を優先し、中止・再開条件を管理する。

ウ：工程は安全基準を逸脱する理由にならない。

エ：経験は自然条件による危険を消すものではない。

総合解説：条件が衝突する場合、安全上の禁止・中止条件は工程条件より上位の制約として扱う。

対象：2026年度 / 法令・制度基準日 2026-08-21

© 2026 資格ブートキャンプ｜個人学習用。法令上認められる場合を除き、無断転載・再配布・販売・第三者への配布・教材等への無断利用を禁止します。利用規約：https://shikaku-bootcamp.com/terms/

0139 複合問題 > 条件整理 ｜ 難易度：基礎

受電切替の条件は、①監督職員立会い、②保護継電器試験合格、③非常電源自動起動確認済み、④利用者周知完了、⑤切替可能時間は2時間、である。保護継電器試験だけ未完了である。適切な判断はどれか。

ア. 他4条件が満たされているので切替する。

イ. 切替後に保護継電器試験を行う。

ウ. 切替を延期し、試験合格を確認してから実施する。

エ. 立会いがあれば未試験でも切替できる。

答え・解説 **正答：ウ**

ア：多数決で条件を満たす制度ではなく、必須条件は全て満たす必要がある。

イ：保護機能の確認は受電前の重要条件である。

ウ：保護継電器試験合格が明示された先行条件なので、未完了のまま切替へ進めない。

エ：立会いは他の品質条件を代替しない。

総合解説：複合条件は「必須条件」と「望ましい条件」を区別し、必須条件の欠落があれば工程を止める。

対象：2026年度 / 法令・制度基準日 2026-08-21

0140 複合問題 > 条件整理 ｜ 難易度：標準

工程回復のため新規下請を翌日投入したい。条件は①契約未締結、②作業員名簿未提出、③必要資格未確認、④作業手順教育未実施、である。適切な判断はどれか。

ア. 工程遅延があるので翌日から作業させ、書類は後追いにする。

イ. 会社名だけ分かれば作業開始させる。

ウ. 元請の監理技術者がいれば下請側の確認は不要である。

エ. 投入を急がず、契約・施工体制・資格・教育を整えてから作業開始させる。

答え・解説 **正答：エ**

ア：工程回復は適正な施工体制を省略する理由にならない。

イ：会社名だけでは必要な確認ができない。

ウ：元請技術者の存在は下請側の資格・体制確認を不要にしない。

エ：契約・体制・資格・教育が未整備のまま投入すると法令・安全・品質上のリスクが高い。

総合解説：工程対策としての増員は、施工体制・資格・安全教育を同時に成立させて初めて有効になる。

対象：2026年度 / 法令・制度基準日 2026-08-21

© 2026 資格ブートキャンプ｜個人学習用。法令上認められる場合を除き、無断転載・再配布・販売・第三者への配布・教材等への無断利用を禁止します。利用規約：https://shikaku-bootcamp.com/terms/

0141 複合問題 > 条件整理 ｜ 難易度：応用

検査で①接地抵抗基準超過、②盤名称表示の誤字、③扉塗装の軽微な傷、④非常電源切替試験未実施、が判明した。最優先の整理として適切なのはどれか。

ア. 安全・機能に直結する①と④を優先して是正・試験し、②③も引渡し前に是正する。

イ. 見た目が分かりやすい③だけ先に直して完了とする。

ウ. ①は数値不良だが設備が動くので無視する。

エ. ④は試験未実施なので不適合ではないとする。

答え・解説 **正答：ア**

ア：接地性能と非常電源機能は安全・機能に直結するため優先度が高く、表示・外観も引渡し品質として是正する。

イ：外観だけ直して安全・機能上の問題を残すのは不適切である。

ウ：基準超過は原因調査・是正が必要である。

エ：必要な試験未実施は合格確認ができていない状態である。

総合解説：不適合の優先順位は、安全性→機能→法令・契約→外観等の影響度を踏まえて決め、全件を閉じるまで追跡する。

対象：2026年度 / 法令・制度基準日 2026-08-21

0142 複合問題 > 現場総合判断 ｜ 難易度：基礎

受電前日、幹線端末処理が2時間遅れている。一方、絶縁試験と増締め確認が未実施で、受電時刻は固定されている。最も適切な現場判断はどれか。

ア. 受電時刻を守るため絶縁試験を省略する。

イ. 作業分担や増員で工程回復を図りつつ、必要な試験・確認を省略せず、完了しなければ受電延期を協議する。

ウ. 端末処理を途中状態のまま送電して確認する。

エ. 検査記録だけ先に作成して受電する。

答え・解説 **正答：イ**

ア：試験省略は重大な安全・品質リスクを生む。

イ：工程対策は必要だが、送電前の品質・安全確認を省略してはならず、条件を満たせなければ受電計画を再協議する。

ウ：未完成状態で送電してはならない。

エ：記録を実施前に作ることは品質管理上不適切である。

総合解説：総合判断では納期を守ることよりも、必要な安全・品質ゲートを維持しながら工程回復策を組む。

対象：2026年度 / 法令・制度基準日 2026-08-21

© 2026 資格ブートキャンプ｜個人学習用。法令上認められる場合を除き、無断転載・再配布・販売・第三者への配布・教材等への無断利用を禁止します。利用規約：https://shikaku-bootcamp.com/terms/

0143 複合問題 > 現場総合判断 ｜ 難易度：標準

営業中の商業施設で天井内配線を行う。通路直上で資材落下のおそれがあり、夜間作業への変更は可能である。最も適切な判断はどれか。

ア. 営業時間中に通路を開放したまま作業する。

イ. 注意看板だけ設置して頭上作業を続ける。

ウ. 第三者動線と作業区域を分離し、必要なら夜間へ変更して落下防止・立入管理を確実にする。

エ. 作業員が声を掛ければ資材落下防止措置は不要である。

答え・解説 **正答：ウ**

ア：第三者が通行する直上作業はリスクが高い。

イ：看板だけでは物理的な落下リスクを除去できない。

ウ：第三者災害を防ぐため、作業区域分離、時間帯変更、落下防止等を組み合わせる。

エ：声掛けは補助策であり、工学的・物理的対策の代替にならない。

総合解説：営業中施設では施工性だけでなく第三者の安全と施設運用を施工条件として計画する。

対象：2026年度 / 法令・制度基準日 2026-08-21

0144 複合問題 > 現場総合判断 ｜ 難易度：標準

試運転中の分電盤から異臭が発生し、端子部の変色も確認した。負荷設備は重要設備で停止時間を短くしたい。最も適切な判断はどれか。

ア. 重要設備なのでそのまま運転しながら経過観察する。

イ. 変色部に塗装して外観を戻して運転する。

ウ. 異臭が消えれば測定せず復旧する。

エ. 安全を優先して運転を停止し、原因調査・是正・必要試験後に復旧する。

答え・解説 **正答：エ**

ア：継続運転は火災・設備損傷リスクを高める。

イ：外観処置では原因を解消できない。

ウ：原因と健全性を確認せずに復旧してはならない。

エ：異臭・変色は過熱や接続不良等の兆候であり、重大事故防止のため停止・原因究明が必要である。

総合解説：重要設備ほど、異常時には安全に停止し、仮設・代替運用を含めて原因除去後に復旧する。

対象：2026年度 / 法令・制度基準日 2026-08-21

© 2026 資格ブートキャンプ｜個人学習用。法令上認められる場合を除き、無断転載・再配布・販売・第三者への配布・教材等への無断利用を禁止します。利用規約：https://shikaku-bootcamp.com/terms/

0145 複合問題 > 現場総合判断 ｜ 難易度：応用

高所作業車で照明柱を施工する直前、予定位置近くに架空電線があることが判明した。工程は当日中の完了が要求されている。最も適切な判断はどれか。

ア. 作業を一旦止め、電線の電圧・離隔・防護等を関係者と確認し、安全な作業計画へ修正する。

イ. 工程優先でそのままブームを伸ばす。

ウ. 作業員に電線へ触れないよう注意だけして実施する。

エ. 照明柱を斜めに吊れば安全確認は不要である。

答え・解説 **正答：ア**

ア：架空線近接は感電・接触事故の重大リスクがあるため、電力会社等との調整や防護・離隔を含む計画変更が必要である。

イ：工程は重大リスクを無視する理由にならない。

ウ：注意喚起だけでは十分なリスク低減とはいえない。

エ：吊り方を変えるだけで電気的危険を解消できない。

総合解説：現場条件が計画と異なる場合は、作業を止めて危険源を再評価し、必要な工学的・管理的対策を追加する。

対象：2026年度 / 法令・制度基準日 2026-08-21

0146 複合問題 > 現場総合判断 ｜ 難易度：標準

工程遅延を回復するため、夜間作業と作業員増員を同時に実施する案が出た。最も適切な管理はどれか。

ア. 人数が増えれば必ず工程が短縮するので直ちに実施する。

イ. 照明・騒音・近隣条件、作業員の疲労、資格者配置、監督体制、品質確認能力まで評価して実施可否を決める。

ウ. 夜間は監督者を減らしても作業量が多ければよい。

エ. 品質検査を翌週に回せば夜間作業の管理は不要である。

答え・解説 **正答：イ**

ア：人数増加だけでは干渉や管理負荷により逆効果になることもある。

イ：増員・夜間化は新たな安全・品質・環境リスクを生むため、作業条件全体を評価する必要がある。

ウ：監督体制を弱めるとリスクが増す。

エ：検査先送りは工程回復策として不適切である。

総合解説：工程回復策は「速くなるか」だけでなく、安全・品質・環境・管理可能性まで含めて評価する。

対象：2026年度 / 法令・制度基準日 2026-08-21

© 2026 資格ブートキャンプ｜個人学習用。法令上認められる場合を除き、無断転載・再配布・販売・第三者への配布・教材等への無断利用を禁止します。利用規約：https://shikaku-bootcamp.com/terms/

0147 複合問題 > 現場総合判断 ｜ 難易度：標準

主要下請会社が撤退し、翌週から別会社へ交代することになった。最も適切な現場対応はどれか。

ア. 会社名だけ施工体系図で変更し、施工はそのまま開始する。

イ. 工程維持のため教育と引継ぎを省略する。

ウ. 契約・施工体制・技術者・資格・施工手順・品質基準・安全ルール・未完事項を引継ぎ、関係書類も更新する。

エ. 前会社の作業員名簿をそのまま新会社に流用する。

答え・解説 **正答：ウ**

ア：会社名だけの変更では実態管理にならない。

イ：教育・引継ぎ省略は事故や品質不良の原因となる。

ウ：下請交代は契約・法規・品質・安全・工程の全てに影響するため、体系的な引継ぎと書類更新が必要である。

エ：作業員名簿は実際の所属・資格等に合わせて更新する。

総合解説：施工体制変更は一つの事務手続ではなく、現場リスクが大きく変化するイベントとして管理する。

対象：2026年度 / 法令・制度基準日 2026-08-21

0148 複合問題 > 現場総合判断 ｜ 難易度：標準

作業員が脚立から転落して負傷した。応急処置後、同じ作業場所で工事再開を求められた。最も適切な判断はどれか。

ア. 負傷が軽ければ直ちに同じ方法で作業を再開する。

イ. 事故原因の確認は完成後に行う。

ウ. 被災者以外の作業員なら同じ危険状態でも作業してよい。

エ. 必要な救護・報告を行い、原因と作業条件を確認して再発防止策が有効になるまで同種作業を再開しない。

答え・解説 **正答：エ**

ア：負傷の程度だけで現場の危険性は消えない。

イ：原因分析を後回しにすると同種災害が再発するおそれがある。

ウ：作業者を替えても設備・手順上の危険が残っていれば再発する。

エ：災害後は救護・報告とともに、危険状態を除去し再発防止策を講じてから再開する。

総合解説：災害時対応は人の交代ではなく、原因となった設備・方法・管理の是正まで行って再開判断する。

対象：2026年度 / 法令・制度基準日 2026-08-21

© 2026 資格ブートキャンプ｜個人学習用。法令上認められる場合を除き、無断転載・再配布・販売・第三者への配布・教材等への無断利用を禁止します。利用規約：https://shikaku-bootcamp.com/terms/

0149 複合問題 > 現場総合判断 ｜ 難易度：標準

完成検査前日に、①主要機能試験合格、②一部ラベル未修正、③施工体制書類の変更履歴未整理、④安全上の残置物なし、という状況である。最も適切な判断はどれか。

ア. ラベルと書類の未完事項を期限・担当者付きで是正し、引渡し資料まで整合させる。

イ. 主要機能が合格しているので②③は放置して引き渡す。

ウ. 書類は品質に関係しないので破棄する。

エ. ラベルは利用者が後で直せばよい。

答え・解説 **正答：ア**

ア：機能合格だけで完成品質が成立するわけではなく、表示・記録を含む要求事項を完了させる必要がある。

イ：未完事項を残したままの引渡しは契約・運用上の問題となる。

ウ：記録は施工の適正性・追跡性を示す重要資料である。

エ：表示は安全な運用・保守にも関わるため施工側で是正する。

総合解説：完成前は設備機能、出来形、表示、記録、清掃・安全状態を総合的に確認する。

対象：2026年度 / 法令・制度基準日 2026-08-21

0150 複合問題 > 現場総合判断 ｜ 難易度：標準

施工図ではケーブルラック経路Aだが、現場では他設備との干渉を避けて経路Bに変更されており、変更承認記録が見つからない。最も適切な対応はどれか。

ア. 現場で収まっているのでそのまま完成図だけBにする。

イ. 施工を一旦確認し、変更理由・性能・離隔・支持・承認経緯を確認して図書と現場を整合させる。

ウ. 施工図を現場に合わせて無断で書き換える。

エ. 他設備と干渉しないなら品質確認は不要である。

答え・解説 **正答：イ**

ア：現場に収まることだけでは契約・品質上の適合を保証しない。

イ：現場変更には性能・安全・他設備調整への影響があるため、承認経緯を確認し、必要な是正・正式変更を行う。

ウ：無断書換えは変更管理として不適切である。

エ：干渉以外にも離隔・支持・保守性など確認事項がある。

総合解説：図面と現場の不一致は、事実確認→技術評価→承認→記録更新の順で解消する。

対象：2026年度 / 法令・制度基準日 2026-08-21

© 2026 資格ブートキャンプ｜個人学習用。法令上認められる場合を除き、無断転載・再配布・販売・第三者への配布・教材等への無断利用を禁止します。利用規約：https://shikaku-bootcamp.com/terms/